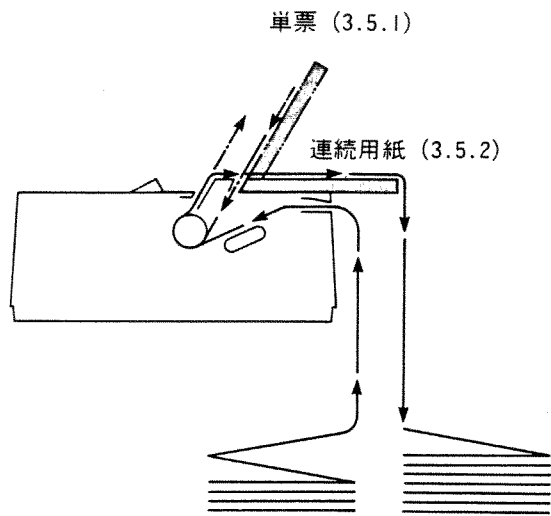


3.5 用紙のセットと位置合わせ

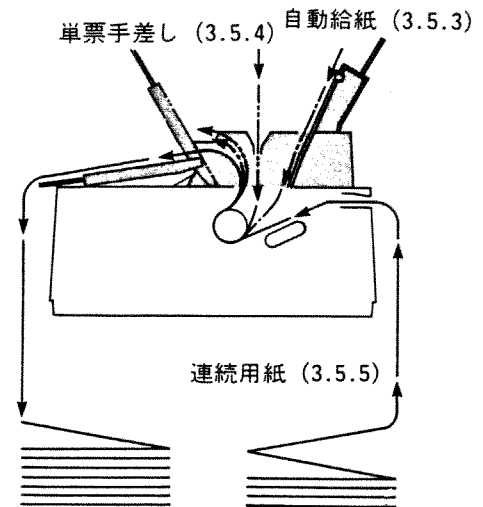
単票、および連続用紙は下の図の矢印の方向に送られます。プリンターの電源を切り、使用する用紙およびオプション類の有無によりカッコ内に示す項目へ進んでください。

注) 用紙のセットと位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによるセットや位置合わせは、用紙づまりの原因となることがあります。

● オプションなしの場合



● 自動給紙機構付きの場合



● 連続用紙送り機構付きの場合

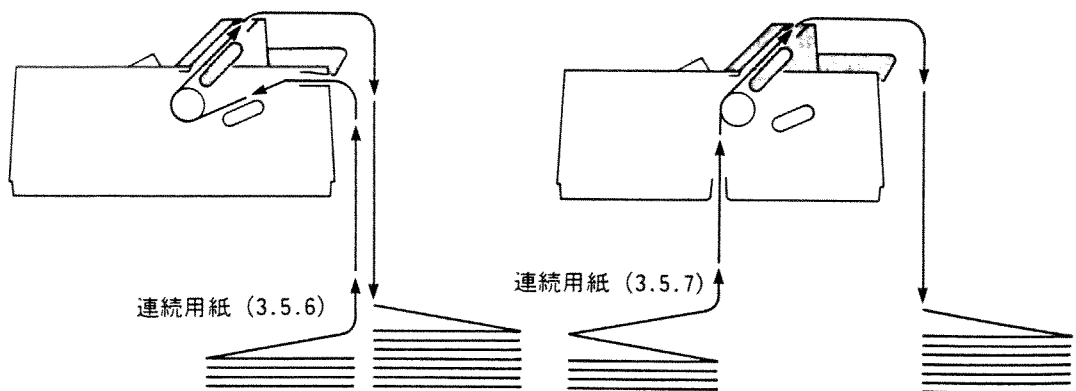
[プッシュ/プル・フィード]

2個のトラクターで紙送りするため、送り精度が向上します。

[ボトム・フィード]

用紙経路の曲がりが少ないため、複写紙の印刷に適しています。

特に両側紙ホチキス紙はこの方法に従ってください。

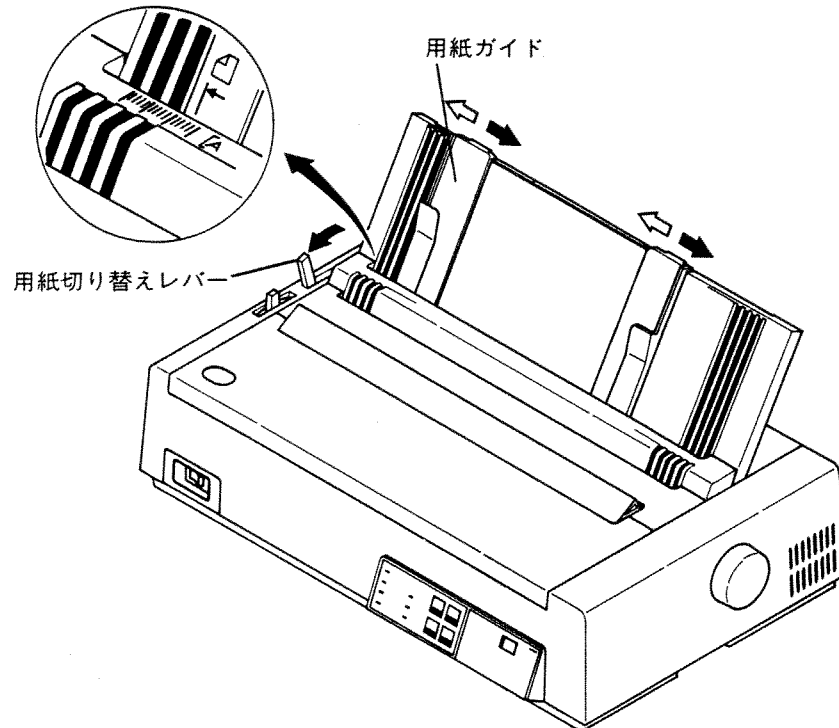


注) 天板にスリット孔のある専用台 (ID# 3691428) が必要です。

3.5.1 単票手差しガイドによる単票のセットと位置合わせ

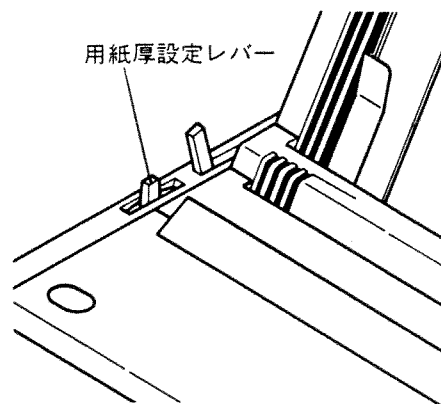
1. 用紙切り替えレバーを「単票」にセットしてください。左右の用紙ガイドのうち左側を[A印左側のスケールの間]に合わせ、右側は用紙の幅に応じてセットしてください。

注) 葉書あるいはA5サイズの内紙はプリンター中央部の「ハガキ」マークに合わせて用紙ガイドを移動してください。

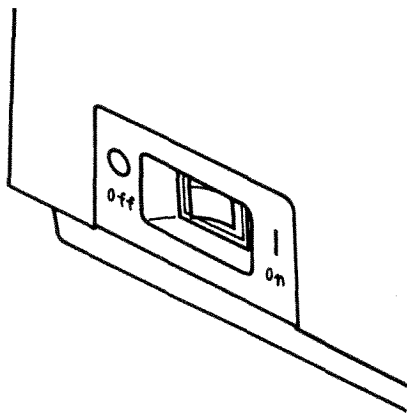


2. 用紙厚設定レバーを動かして、適正な用紙厚に設定してください。

注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。

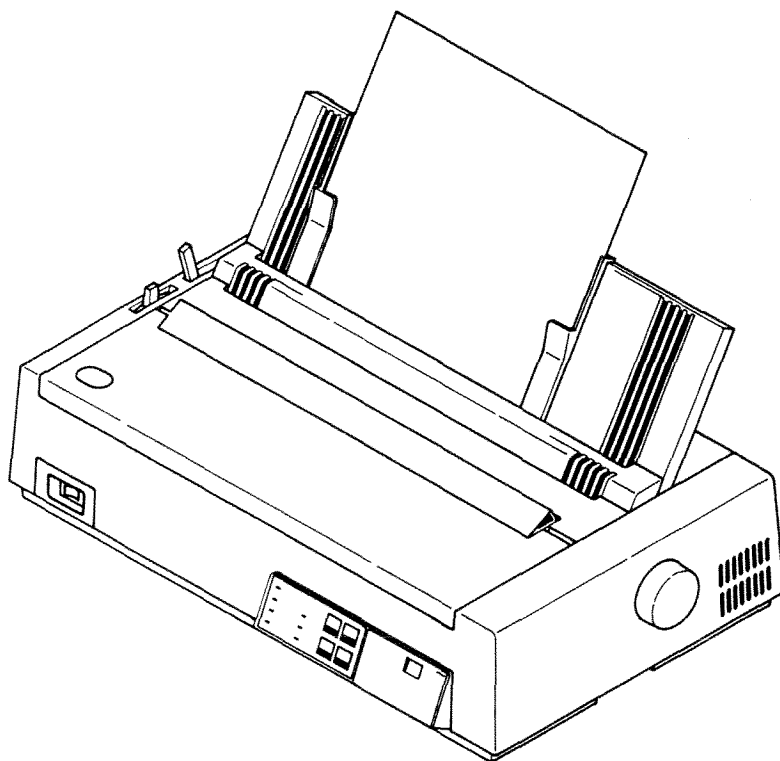


-
3. 電源スイッチを入れてください。
電源ランプ、単票ランプおよび印刷可ランプが点きます。



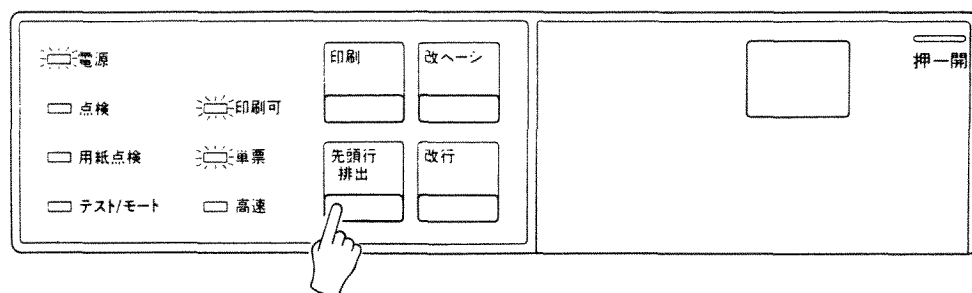
-
4. 単票手差しガイドの吸入口に用紙を突き当たるまで差し込んでください。
(このとき、用紙を左側の用紙ガイドに沿わせて入れてください。)

注) 用紙はまっすぐにセットしてください。

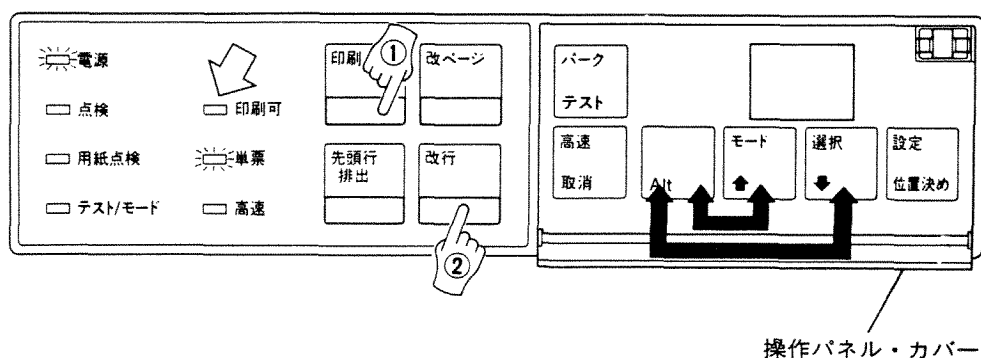


5. 先頭行/排出スイッチを押してください。用紙が自動的に吸入されます。吸入されない場合は、用紙を軽く押しながら、再度先頭行/排出スイッチを押してください。

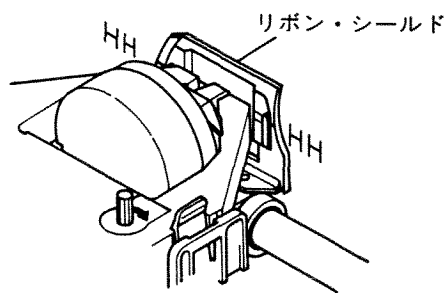
注) 用紙が傾いた状態で吸入操作を行うと、印字も斜めになりますので用紙は傾きがないように挿入してください。



6. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。

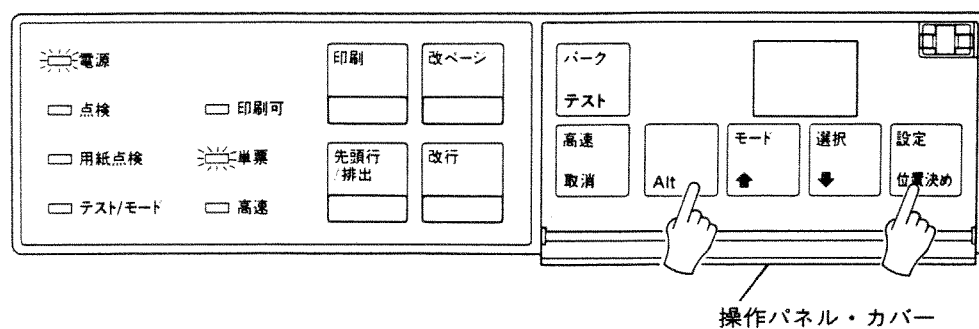


2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙づまりの原因となることがあります。

-
7. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ (Alt スイッチを押したまま設定スイッチ) を押してください。
用紙の位置が記憶されます。(印刷開始位置のセット)

注) 連続用紙の印刷開始位置とは別に記憶され、この値は電源を切っても記憶されています。

なお、位置決めスイッチを押さない場合、次の用紙の印刷開始位置は変更されません。

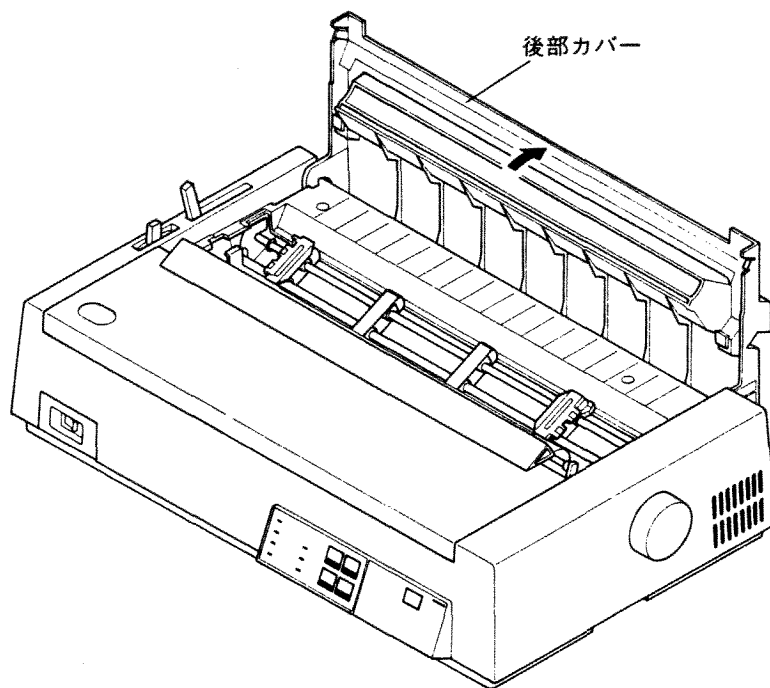


以上で用紙のセットは完了です。

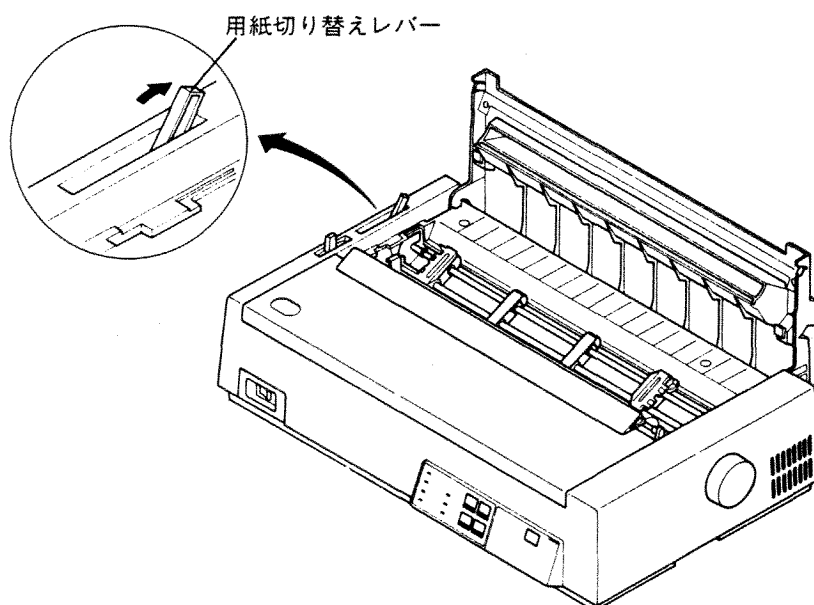
操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.5.2 内蔵トラクターによる連続用紙のセットと位置合わせ

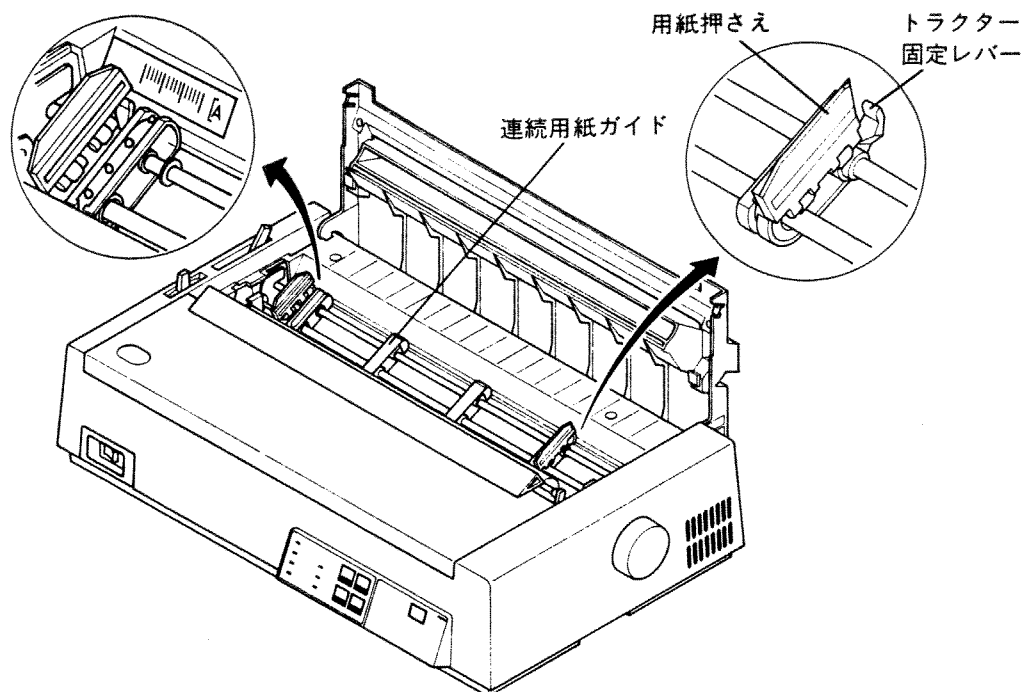
1. 単票手差しガイドを取り外して、プリンターの後部カバーを開いてください。



2. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。

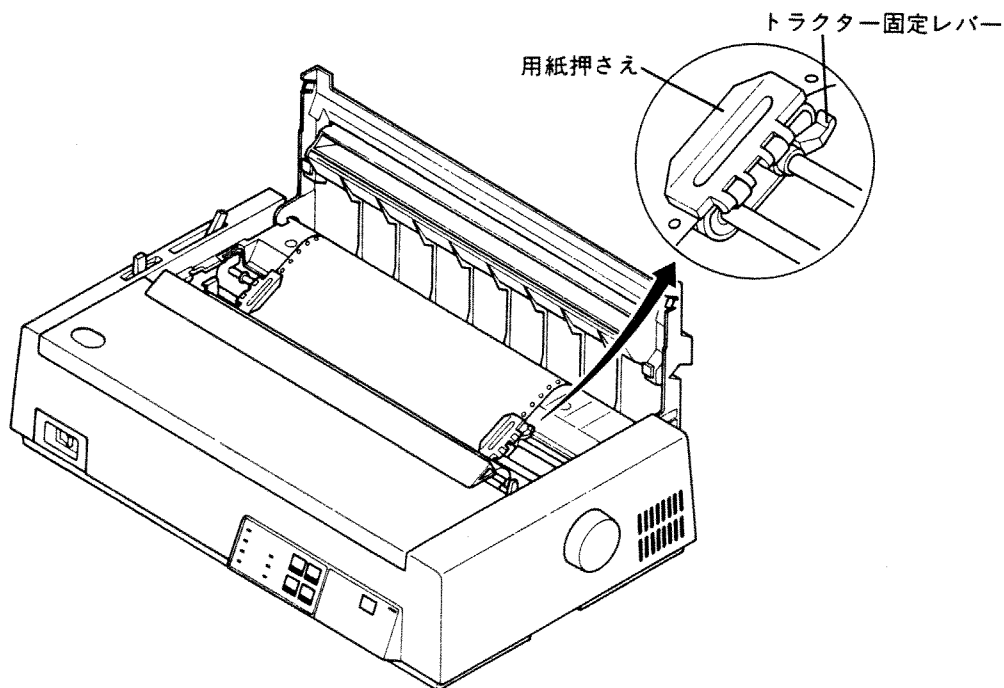


-
3. トラクター固定レバーを手前へ押し上げて、左側のトラクターを[A印左側のスケール]の間に合わせ、右側のトラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開けてください。
連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分になるように移動してください。

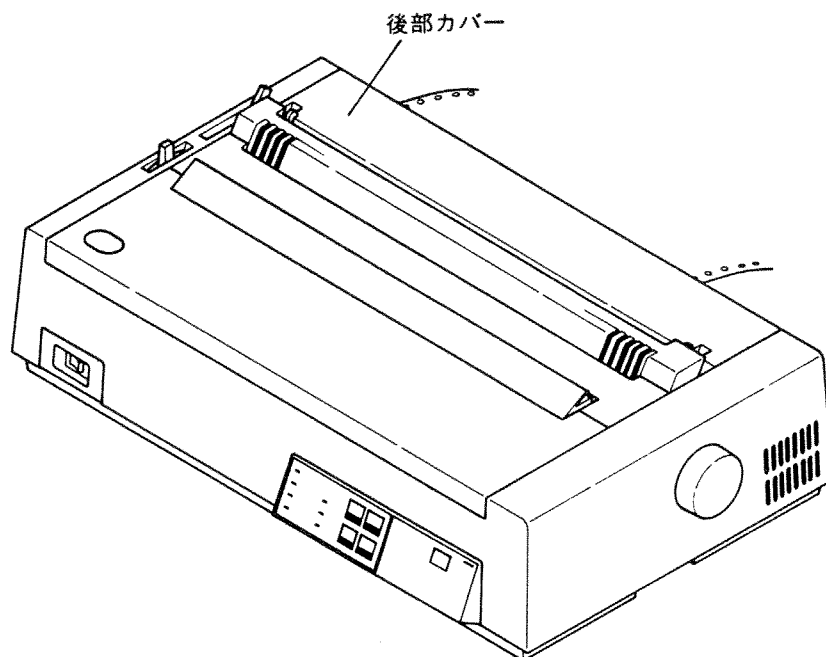


注) [A印マークが印字開始位置を示します。

-
4. プリンター本体と後部カバーの間に連続用紙を通し、連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえを閉じてください。
トラクター固定レバーを押し下げてトラクターを固定してください。

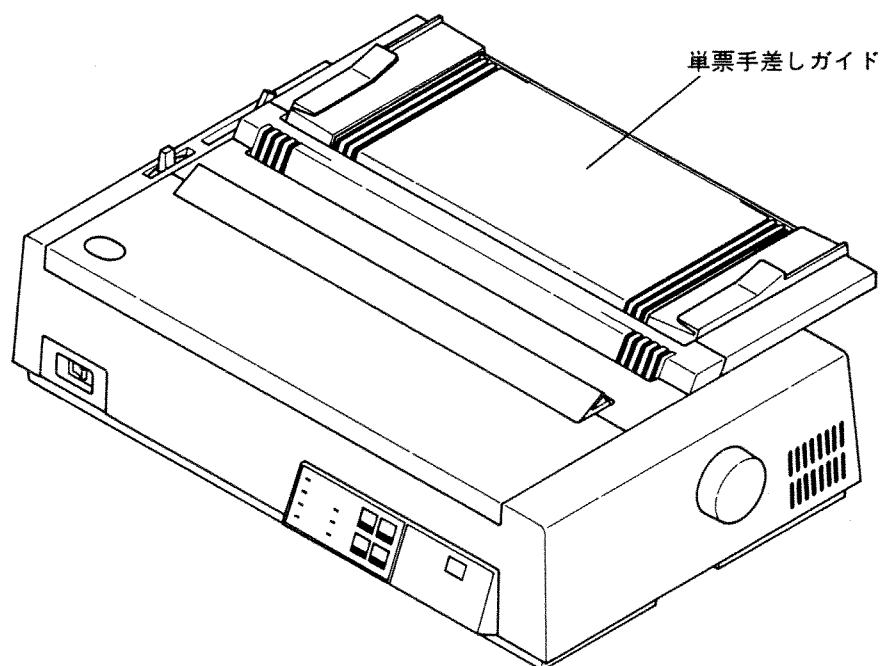


-
5. 後部カバーを閉じてください。



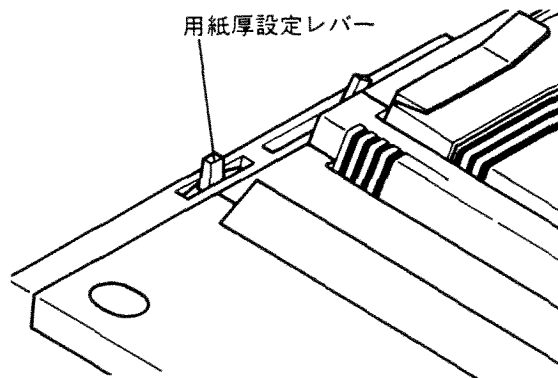
-
6. 単票手差しガイドを下図に示すように、水平に倒した状態で取り付けてください。

注) 必ず水平に倒して取り付けてください。立てた状態で使用すると、用紙づまり等の原因となります。

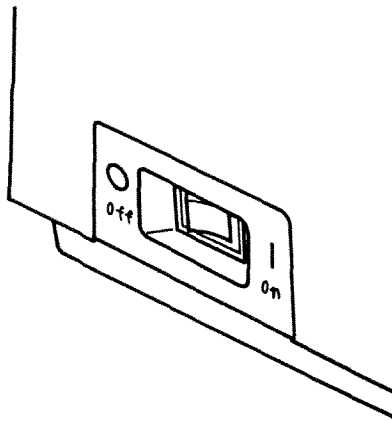


7. 用紙厚設定レバーで適正な用紙厚に設定してください。

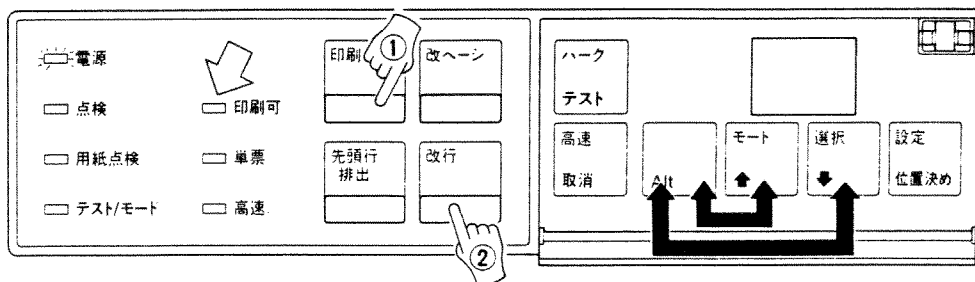
注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。



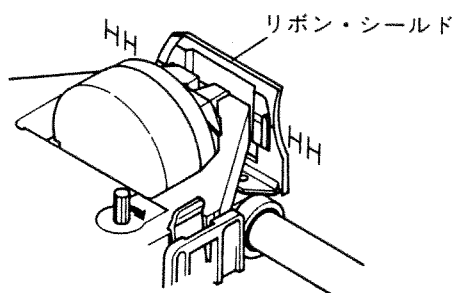
8. 電源スイッチを入れてください。用紙が自動的に吸入され、印刷可ランプが点灯します。



9. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。
リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



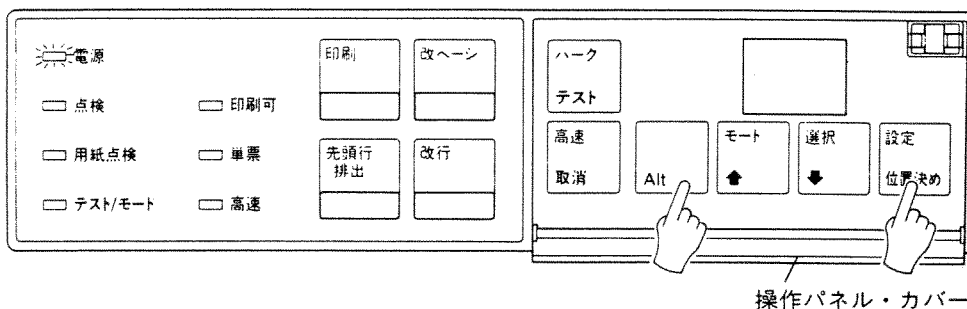
注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。



2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙ぶまりの原因となることがあります。

10. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ(Altスイッチを押したまま設定スイッチ)を押してください。
用紙の位置が記憶されます。(印刷開始位置のセット)

- 注) ● 単票の印刷開始位置とは別に記憶され、この値は電源を切っても記憶されています。
- 必要ならば、ミシン目と切り取り位置の微調整も可能です。「3.6 ミシン目と切り取り位置の調整」を参照してください。



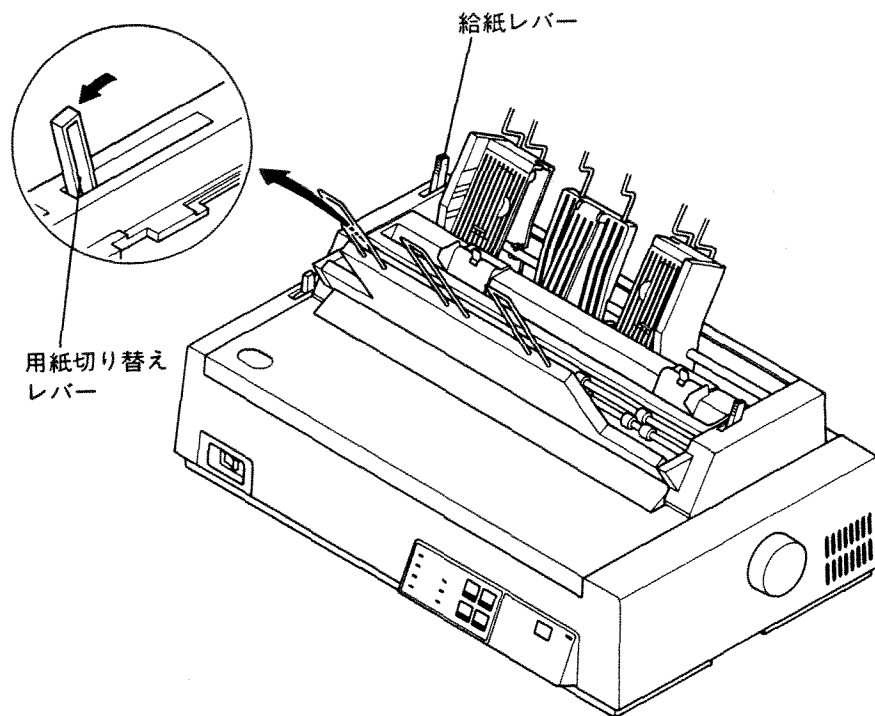
以上で用紙のセットは完了です。

操作パネル・カバーを開けてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.5.3 自動給紙機構使用時の単票のセットと位置合わせ

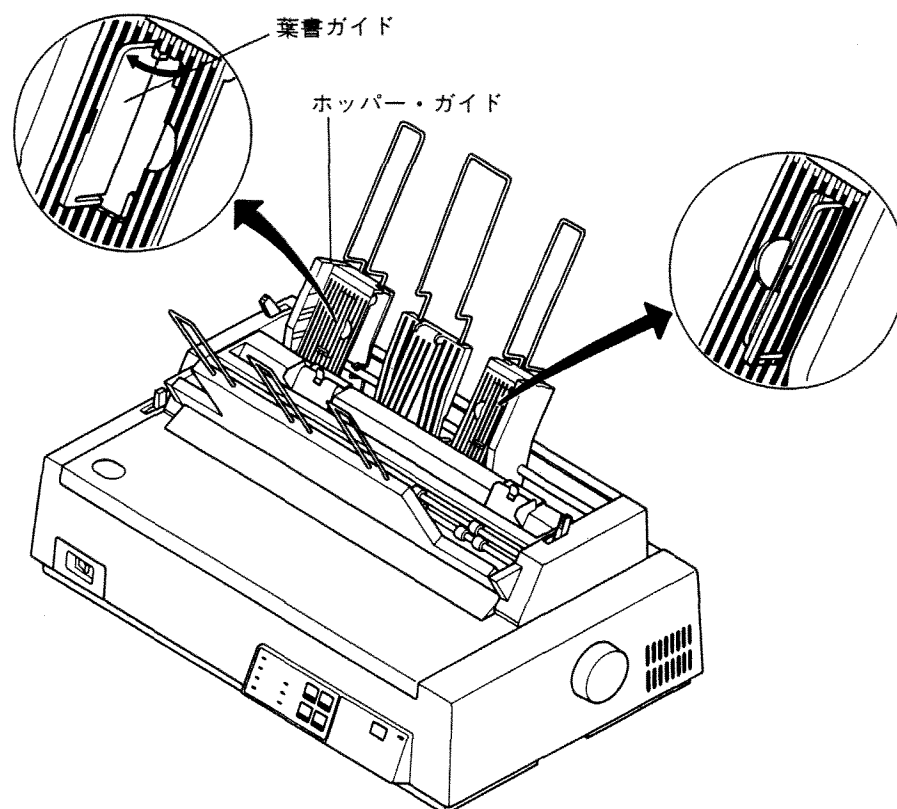
注) 自動給紙機構の設置は、「2.6 自動給紙機構の設置」を参照してください。

1. プリンターの用紙切り替えレバーを「単票」にセットしてください。



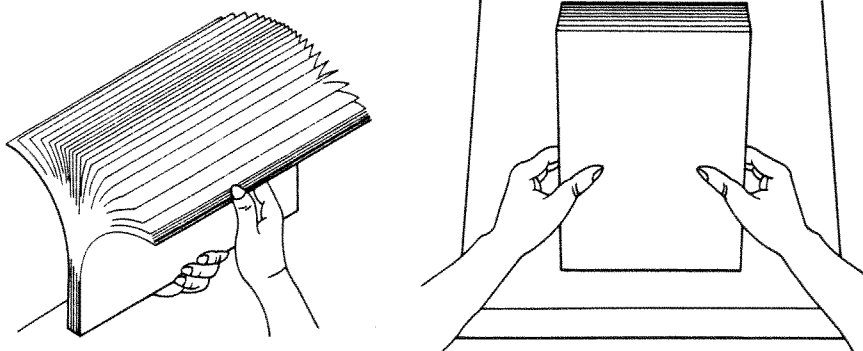
2. 自動給紙機構の給紙レバーを「用紙補給」に引いてください。
ホッパーが引っ込み、カチッと音がして固定されます。

-
3. 左側のホッパー・ガイドを[A印左側のスケールの間]に合わせ、右側のホッパー・ガイドを用紙の幅よりも0.5～1 mm程度、幅広に合わせてください。
葉書あるいはA5サイズ用の紙は、自動給紙機構中央部の「ハガキ」マークに合わせてホッパー・ガイドを移動してください。
葉書をセットする場合は、左右のホッパー・ガイドについている葉書ガイドを手前に起こしてください。



注) [Aマークが印刷開始位置を示します。]

-
4. 用紙はセットする前に必ずさばいてください。
用紙をさばきましたら、机の上などの平らな所で端を揃えてください。

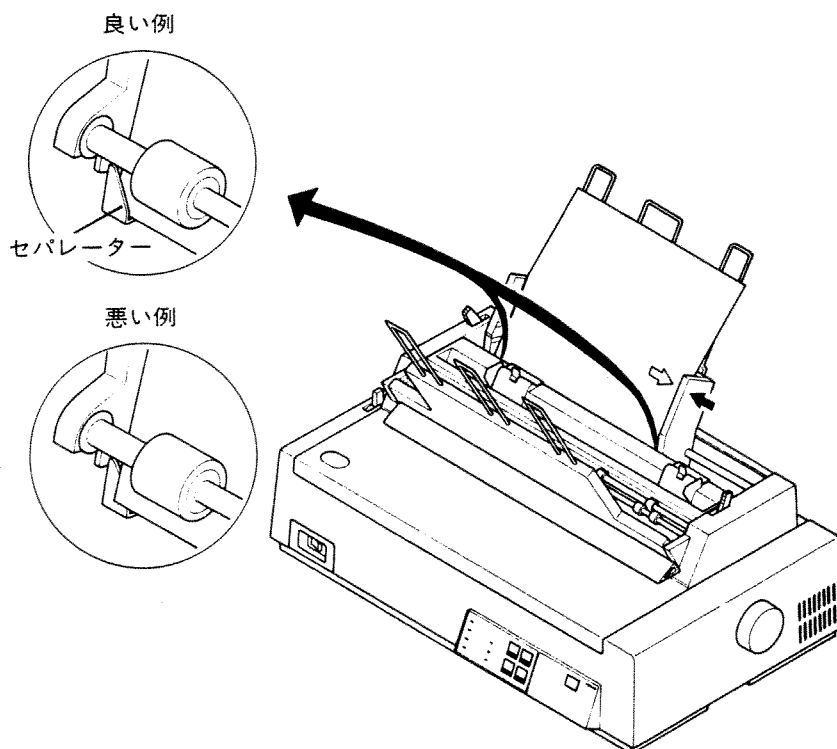


-
5. 用紙を左側のガイドに沿ってセットし、右側のガイドを左右に移動させ、用紙の幅に合わせてください。

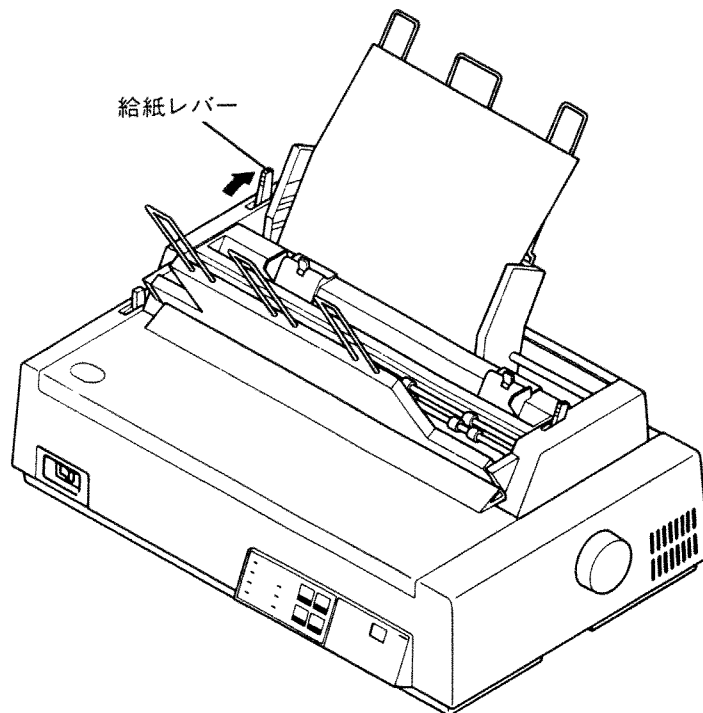
このとき、左右のガイドの間で用紙が上下できる程度の余裕を持たせてください。この余裕がないと、用紙が湾曲したりして正しく送られない場合があります。

注) 1. 単票下端の両角が左右のセパレーターからはみ出さないように注意してください。

2. 用紙の量は、左側のホッパー・ガイド内側の赤線を超えないようにしてください。

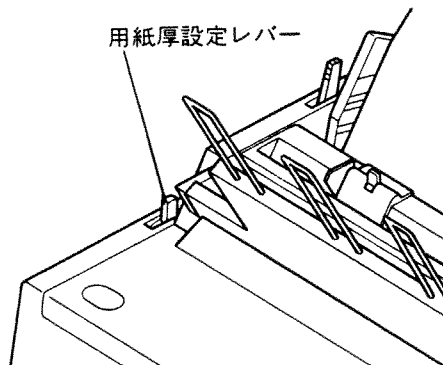


-
6. 給紙レバーを後方の「自動給紙」に押ししてください。
用紙がホッパーと給紙ローラーの間に固定されます。

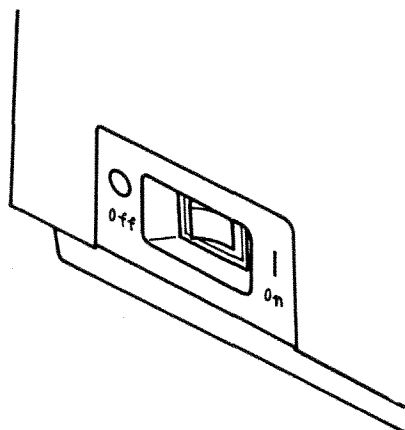


-
7. 用紙厚設定レバーを動かして、適正な用紙厚に設定してください。

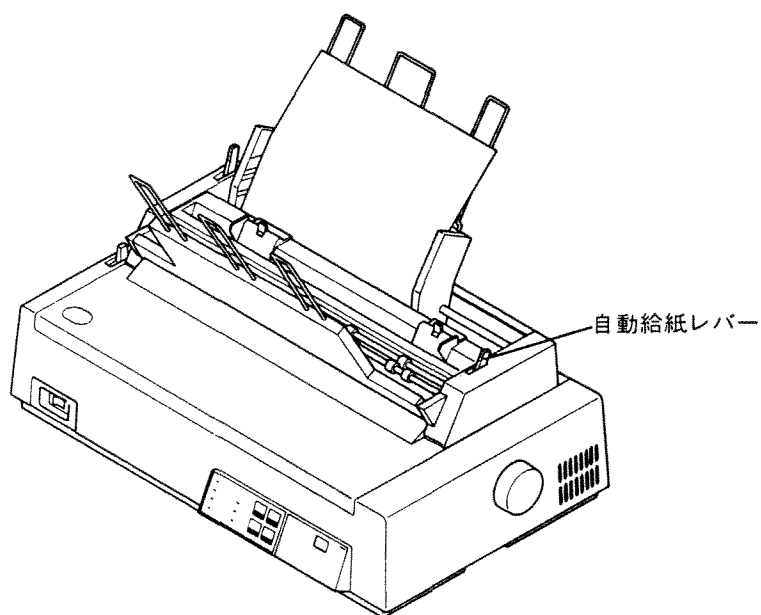
注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。



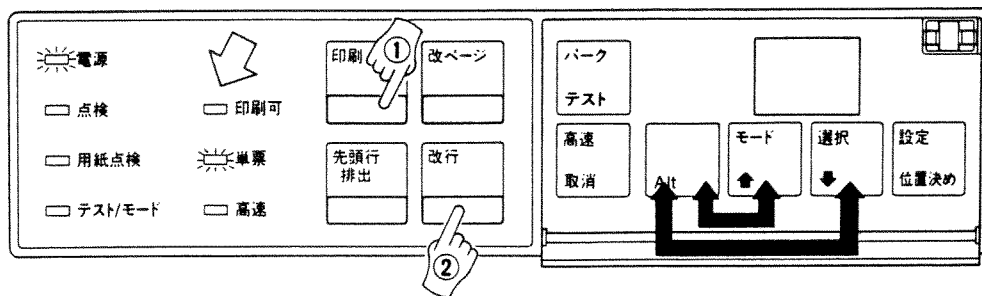
-
8. 電源スイッチを入れてください。
電源ランプ、単票ランプおよび印刷可ランプが点きます。



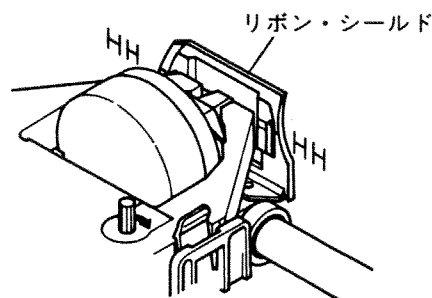
-
9. 自動給紙レバーが後方の「単票自動給紙」にセットされているのを確認してから、先頭行/排出スイッチを押してください。自動的に印刷開始位置まで用紙を吸入します。



10. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。
リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



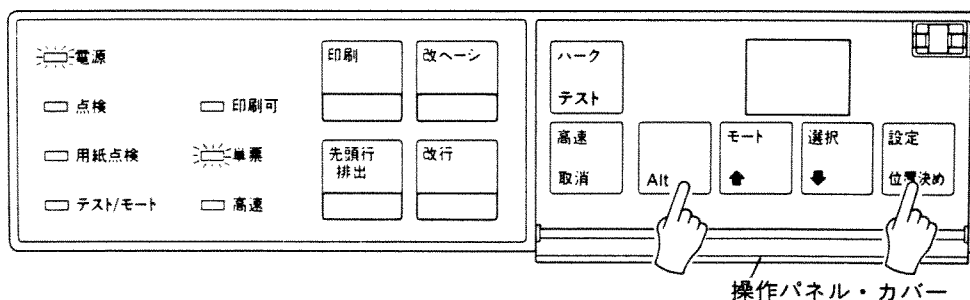
注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。



2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙づまりの原因となることがあります。

11. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ(Altスイッチを押したまま設定スイッチ)を押してください。
用紙の位置が記憶されます。(印刷開始位置のセット)

注) 連続用紙の印刷開始位置とは別に記憶され、この値は電源を切っても記憶されています。
なお、位置決めスイッチを押さない場合、次の用紙の印刷開始位置は変更されません。



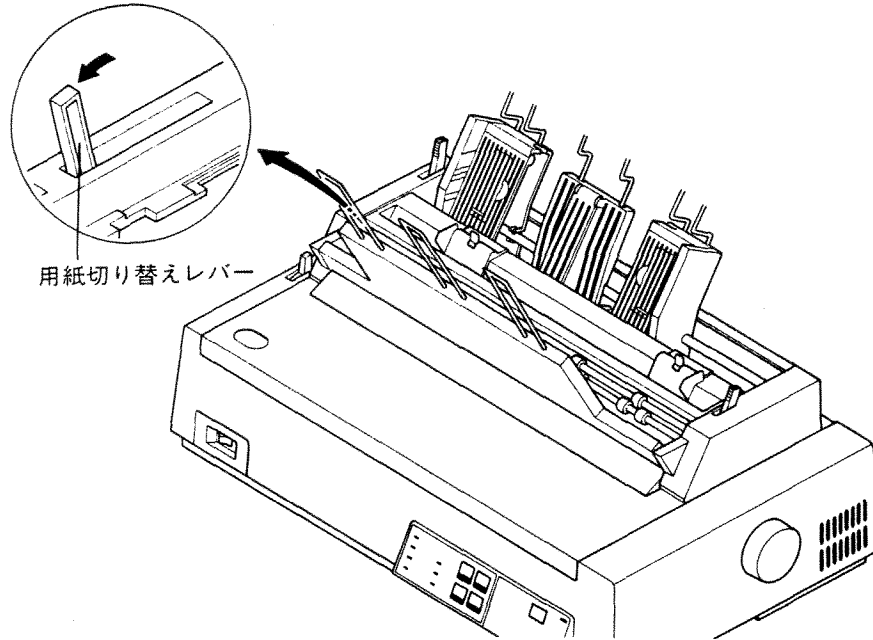
以上で用紙のセットは完了です。

操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

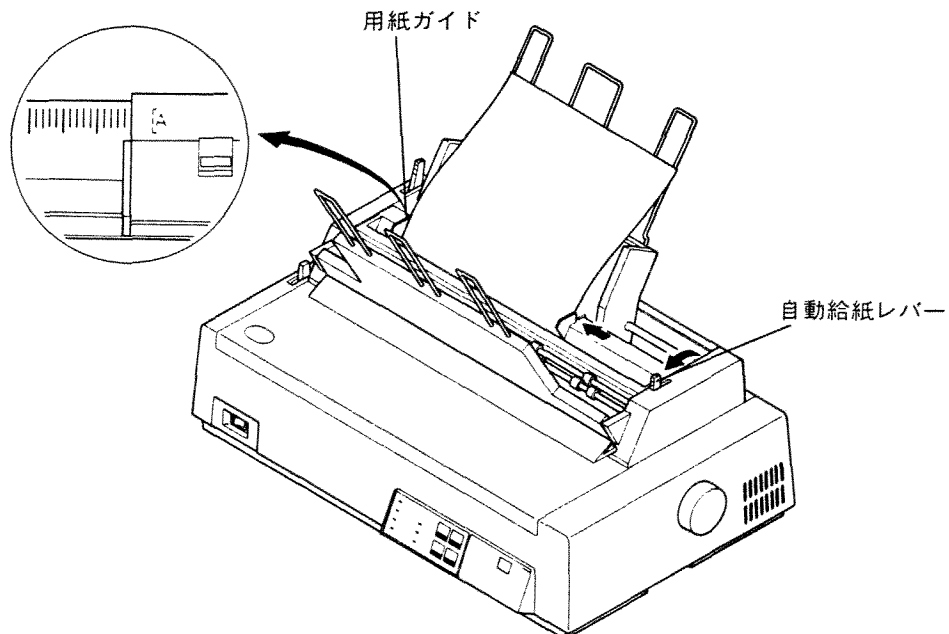
3.5.4 自動給紙機構使用時の手差しによる単票のセットと位置合わせ

このプリンターは、自動給紙機構をセットしたままでも、単票や葉書を手差しでセットして印刷することができます。

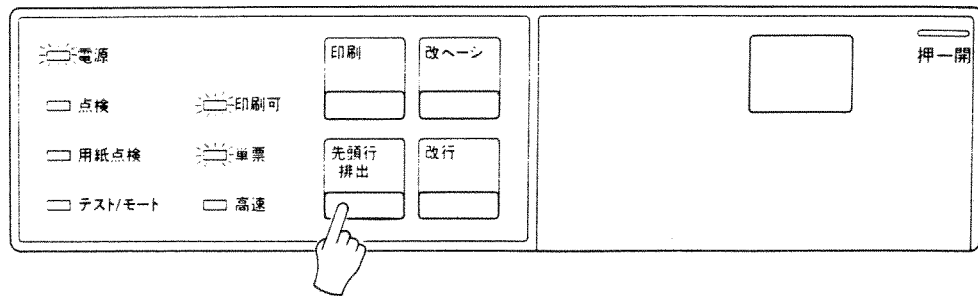
1. プリンターの用紙切り替えレバーを「単票」にセットしてください。



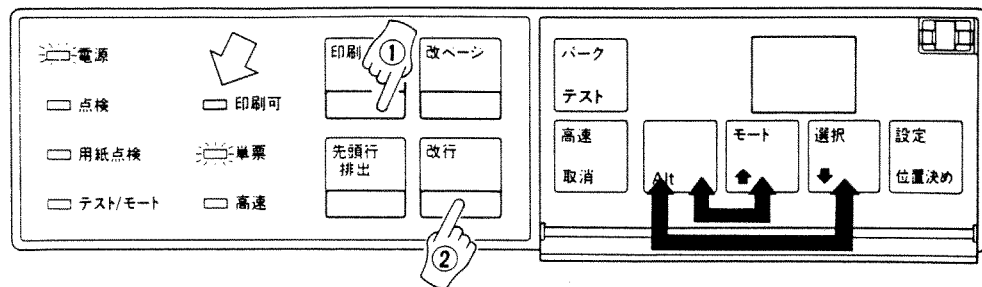
2. 自動給紙レバーを前方の「連続紙/単票手差し」にセットしてから、ホッパーの手前にある手差し挿入口の左側の用紙ガイドを[A印左側のスケールの間に合わせ、右側の用紙ガイドを調整して、用紙をセットしてください。
葉書あるいはA5サイズ用の紙は、「ハガキ」のマークに合わせてください。



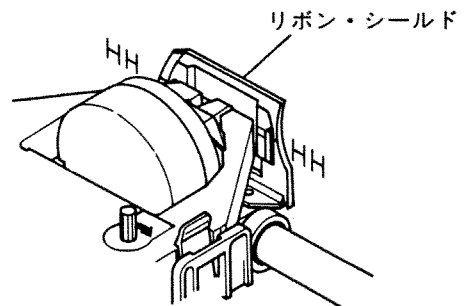
3. 先頭行/排出スイッチを押してください。自動的に印刷開始位置まで用紙を吸入します。



4. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。
リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。



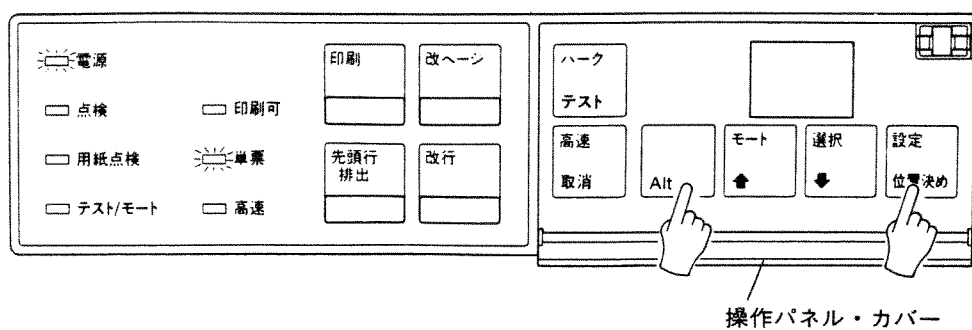
2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙ぶまりの原因となることがあります。

-
5. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ(Alt スイッチを押したまま設定スイッチ)を押してください。

用紙の位置が記憶されます。(印刷開始位置のセット)

注) 連続用紙の印刷開始位置とは別に記憶され、この値は電源を切っても記憶されています。

なお、位置決めスイッチを押さない場合、次の用紙の印刷開始位置は変更されません。

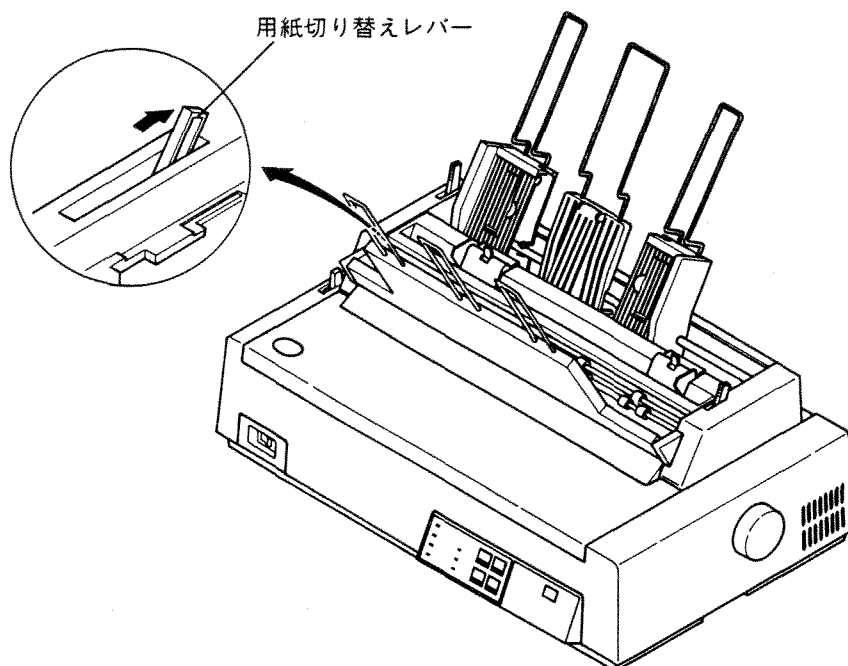


以上で用紙のセットは完了です。

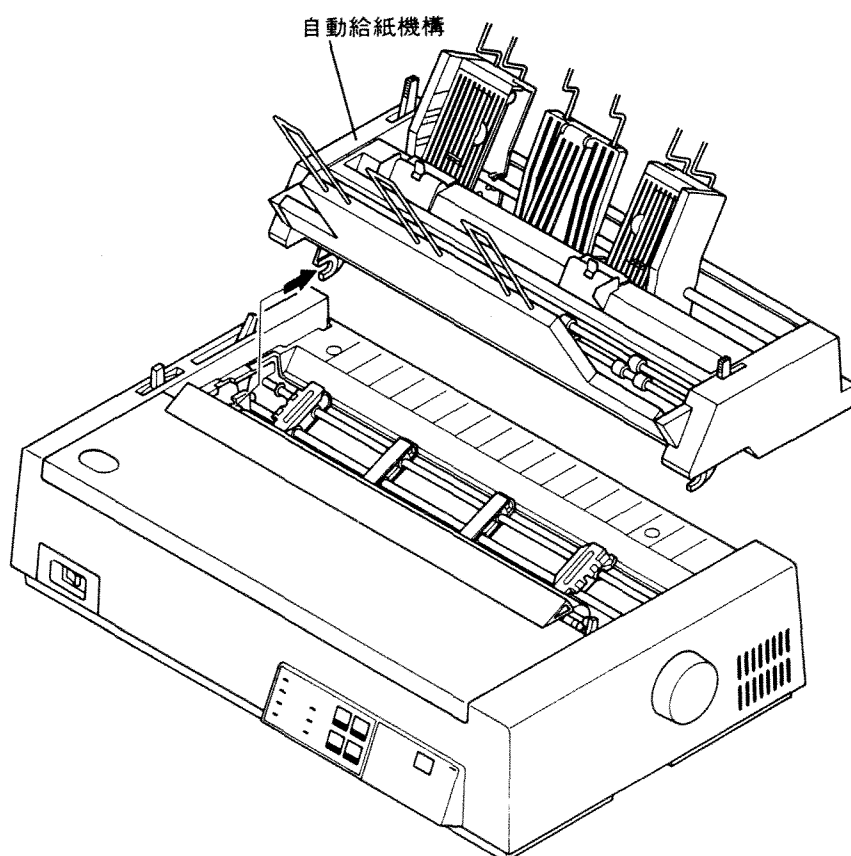
操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.5.5 自動給紙機構使用時の連続用紙のセットと位置合わせ

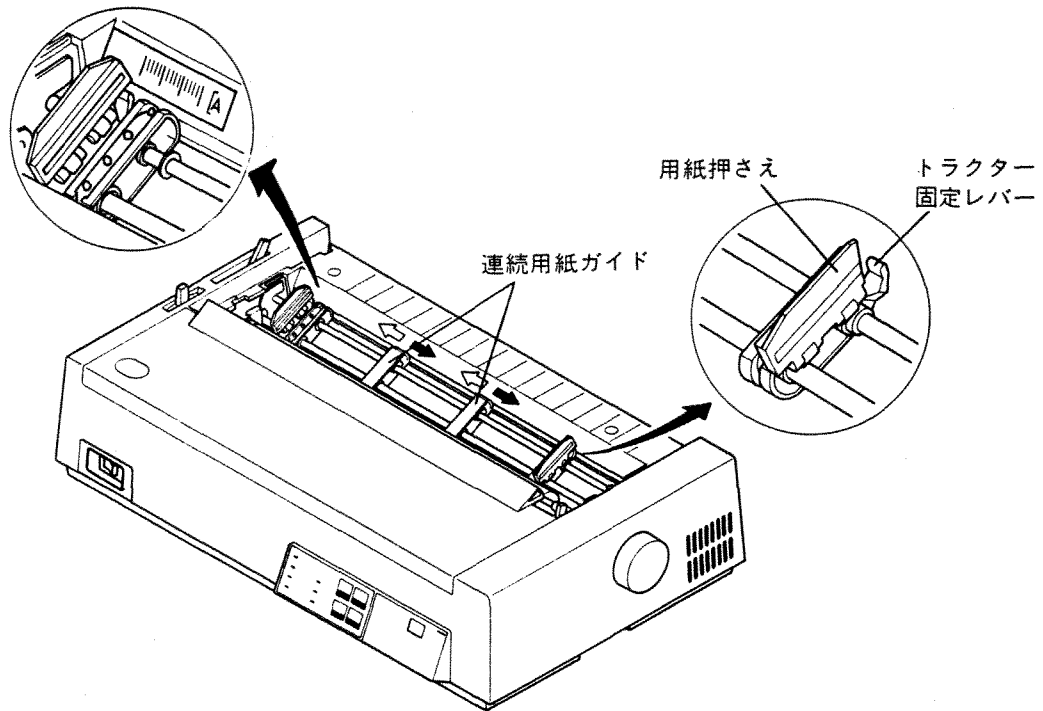
1. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。



2. 自動給紙機構を取り外してください。

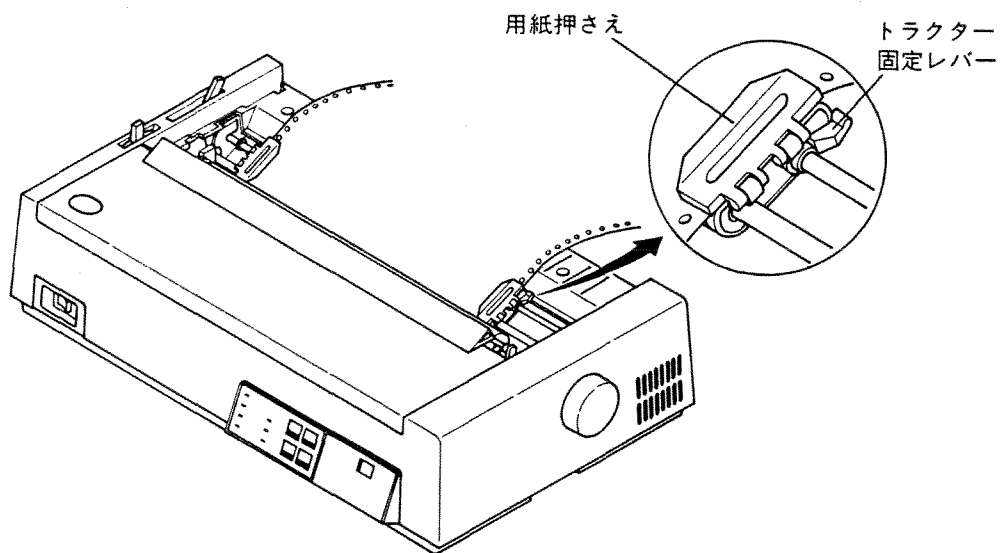


-
3. トラクター固定レバーを手前へ押し上げて、左側のトラクターを[A印左側のスケール]の間に合わせ、右側のトラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開けてください。
連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分になるように移動してください。

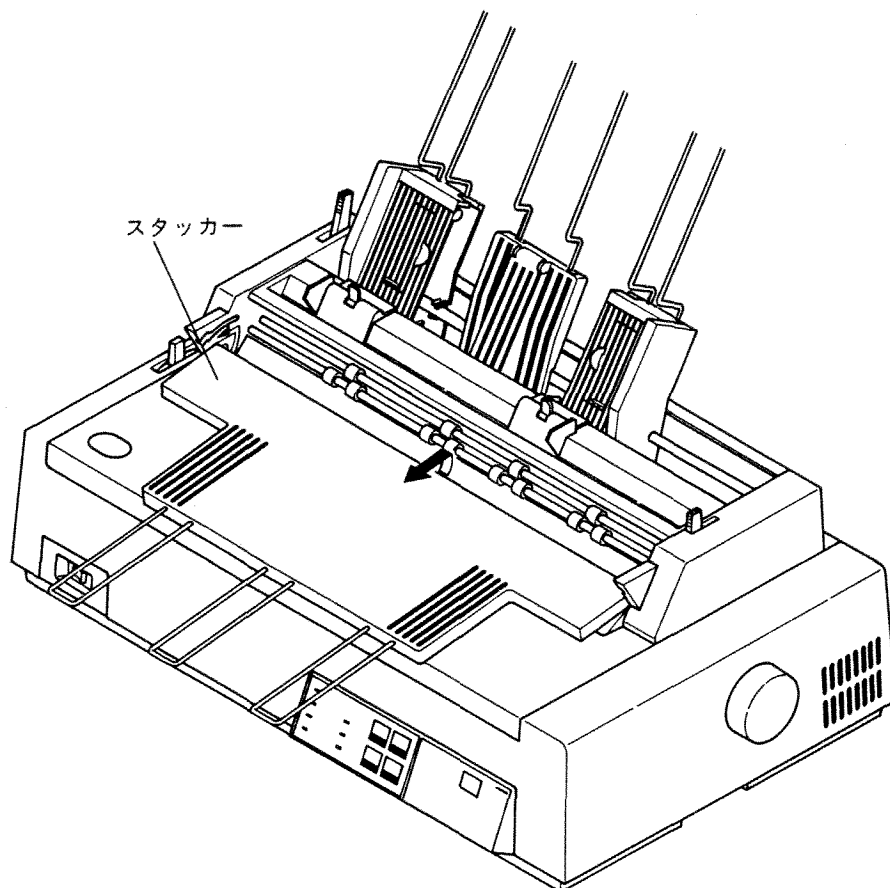


注) [A印マークが印字開始位置を示します。

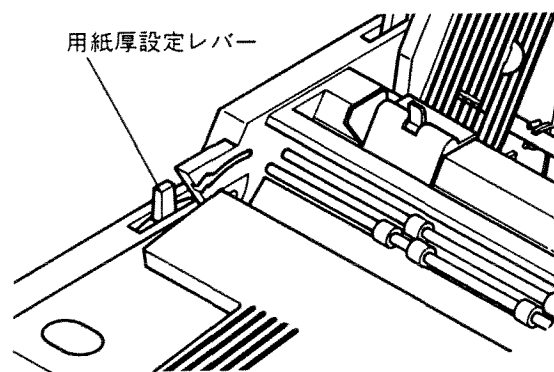
-
4. 連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえを閉じてください。
トラクター固定レバーを押し下げてトラクターを固定してください。



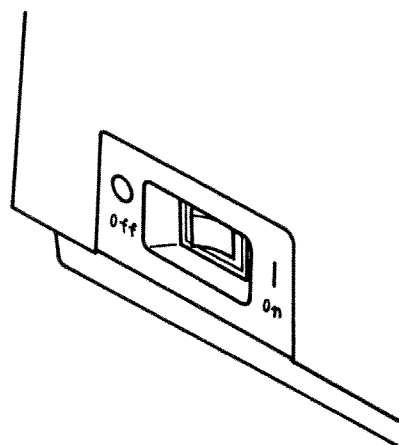
-
5. 自動給紙機構を取り付けてください。
スタッカーを上引き上げながら手前に倒してください。



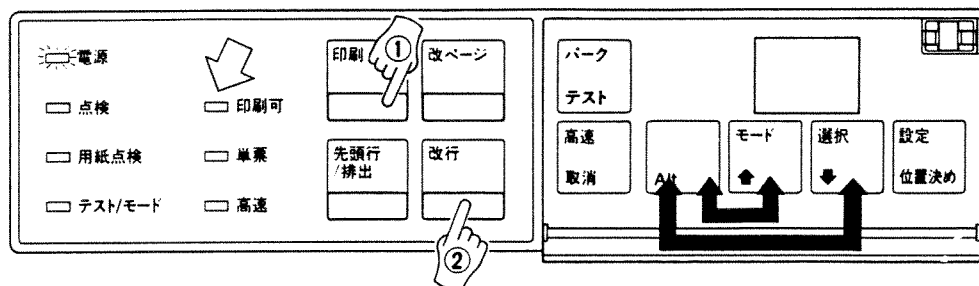
-
6. 用紙厚設定レバーで適正な用紙厚に設定してください。
注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。



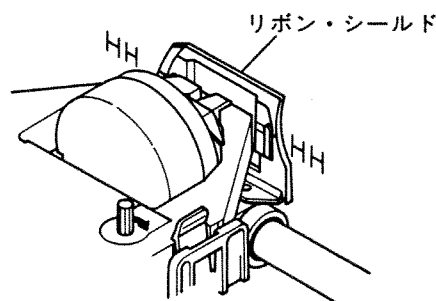
7. 電源スイッチを入れてください。用紙が自動的に吸入され、印刷可ランプが点灯します。



8. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。
リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。

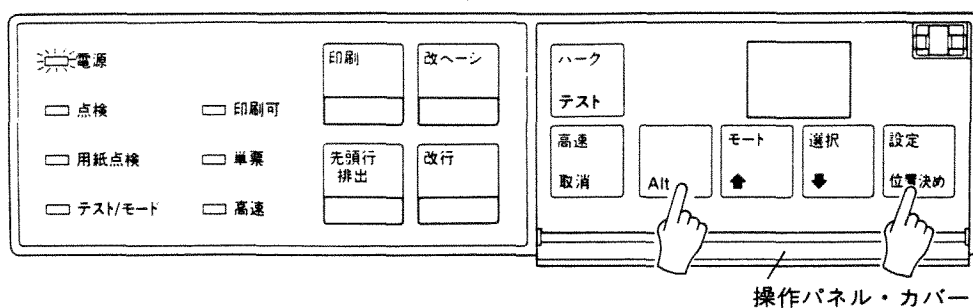


2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙づまりの原因となることがあります。

9. 操作パネル・カバーを開き、位置決めスイッチ (Alt スイッチを押したまま設定スイッチ) を押してください。

用紙の位置が記憶されます。(印刷開始位置のセット)

- 注) ● 単票の印刷開始位置とは別に記憶され、この値は電源を切っても記憶されています。
- 必要ならば、ミシン目と切り取り位置の微調整も可能です。「3.6 ミシン目と切り取り位置の調整」を参照してください。

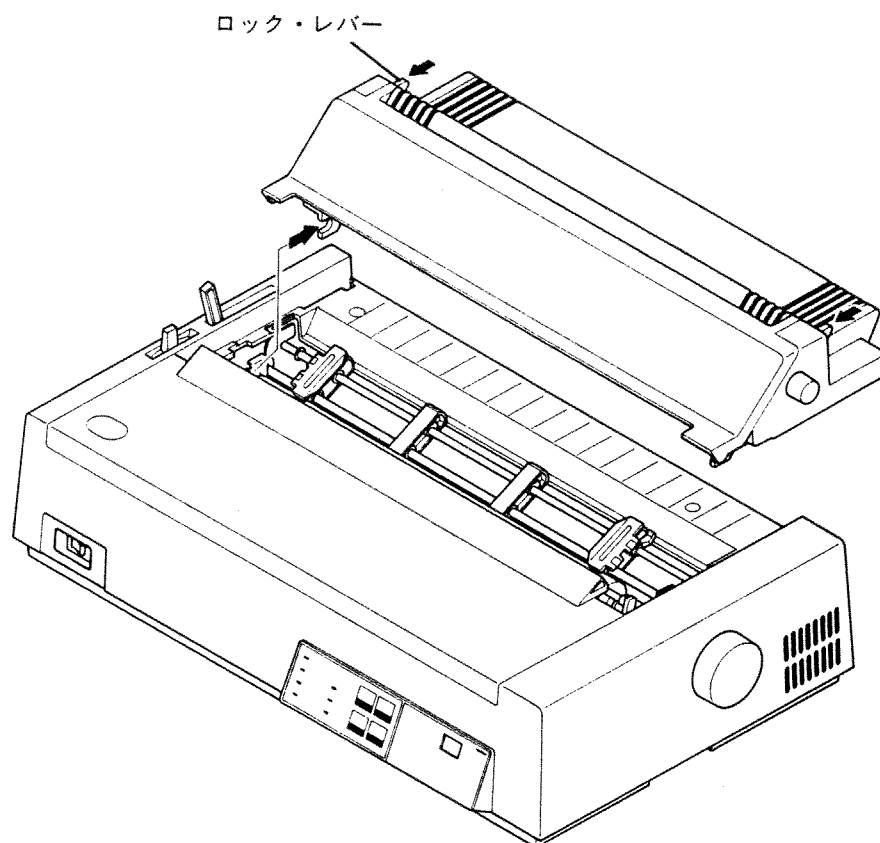


以上で用紙のセットは完了です。

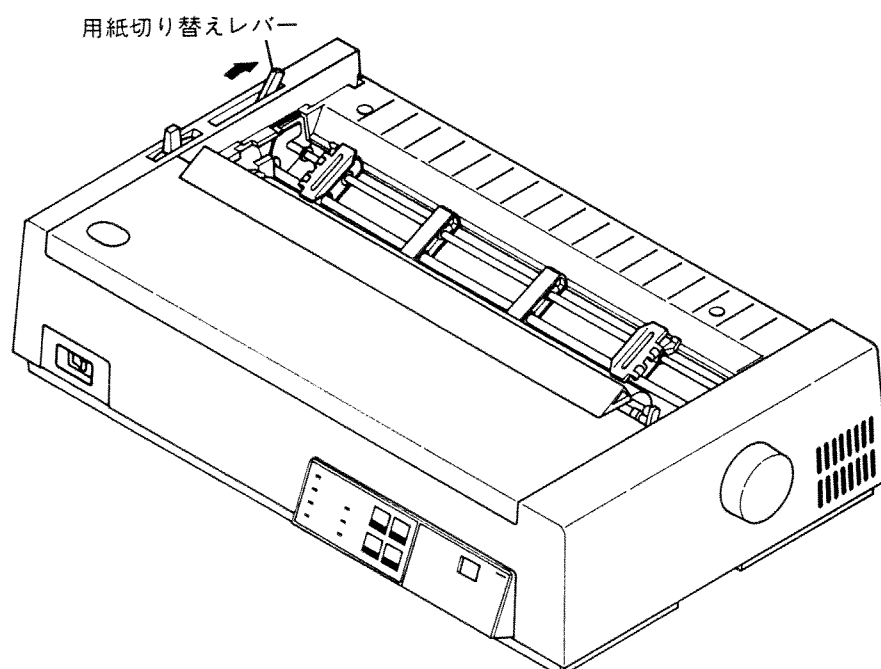
操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

3.5.6 内蔵トラクターと連続用紙送り機構による連続用紙のセット(プッシュ/プル・フィード)

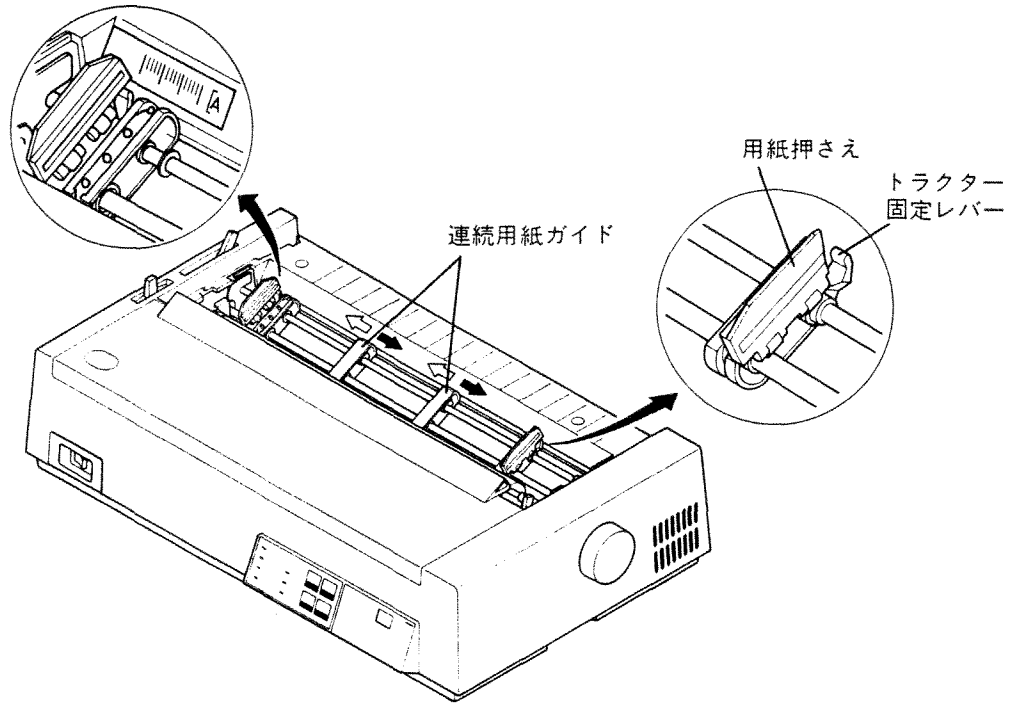
1. ロック・レバーを押しながら連続用紙送り機構を持ち上げて、取り外してください。



2. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。

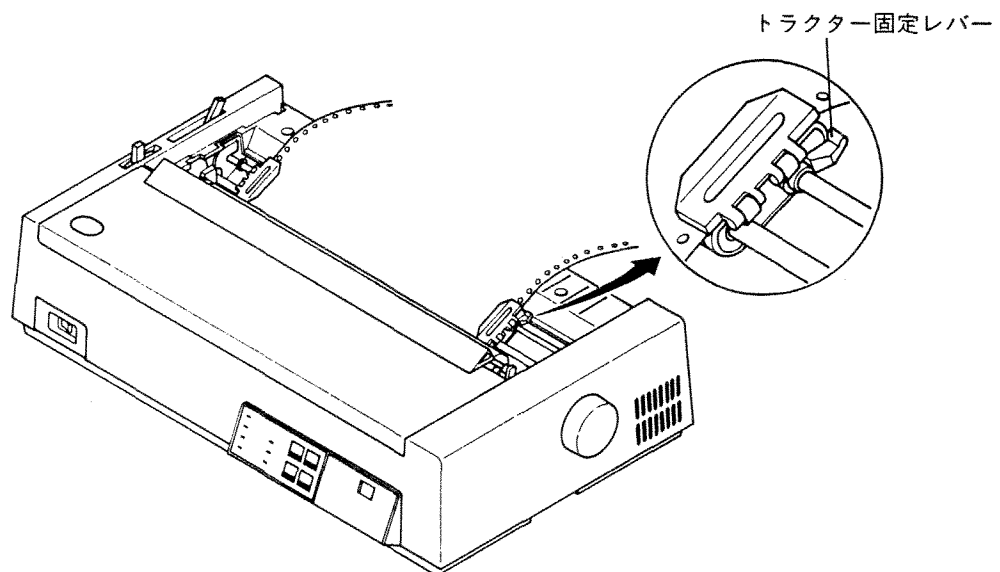


-
3. トラクター固定レバーを手前へ押し上げて、左側のトラクターを[A印左側のスケール]の間に合わせ、右側のトラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開けてください。
連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分になるように移動してください。

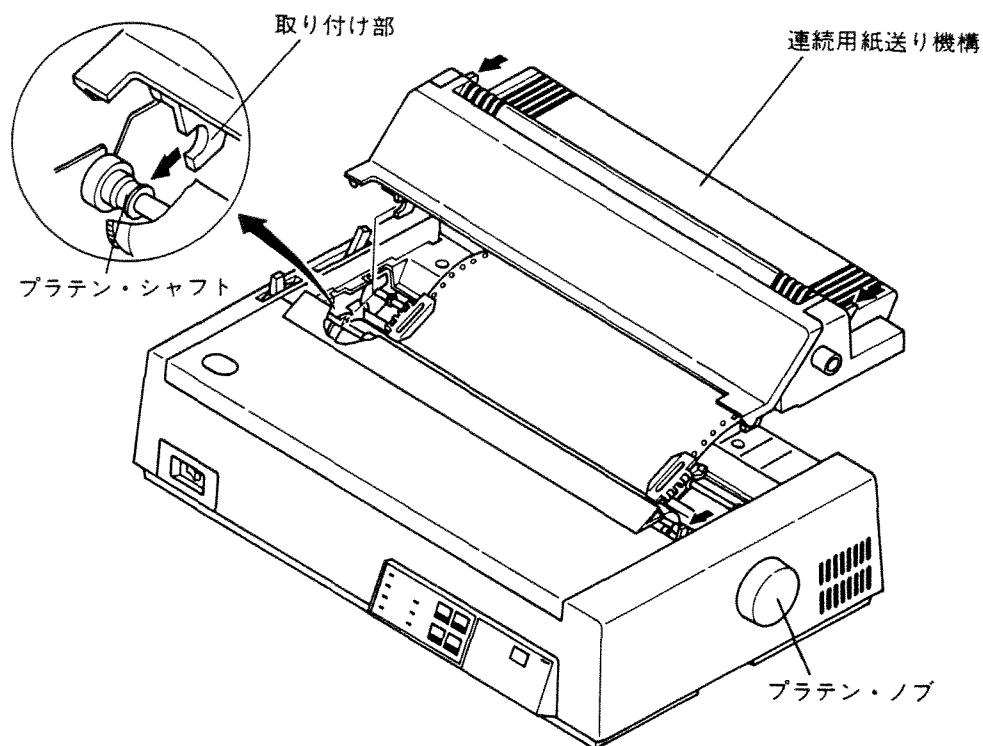


注) [A印マークが印字開始位置を示します。]

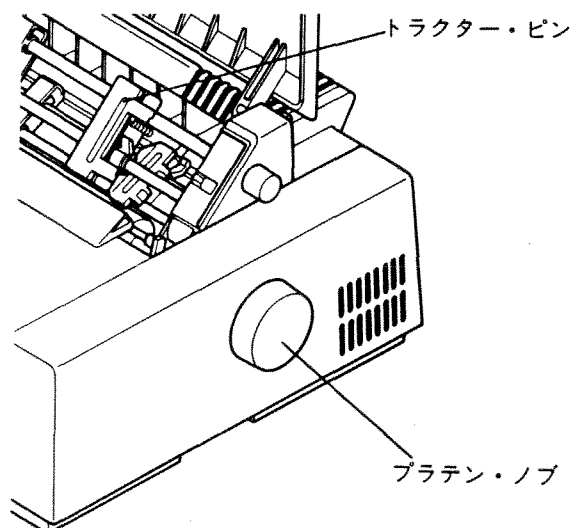
-
4. 連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえを閉じてください。
トラクター固定レバーを押し下げてトラクターを固定してください。



-
5. ベイル・ローラーを手前にセットしてから、連続用紙送り機構を少し手前に傾けるようにして、プリンターのプラテン・シャフトに連続用紙送り機構の取り付け部を差し込んでください。

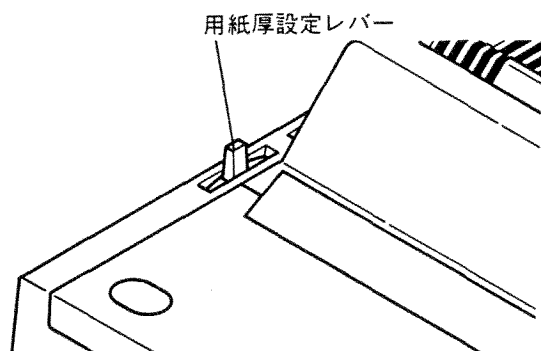


-
6. 連続用紙送り機構を下に降ろし、確実に取り付けてください。
連続用紙送り機構の取り付け部が、左右とも正しくプリンターに固定されているか確認してください。
正しく固定されていれば、プラテン・ノブを回したとき、連続用紙送り機構のトラクター・ピンが回ります。

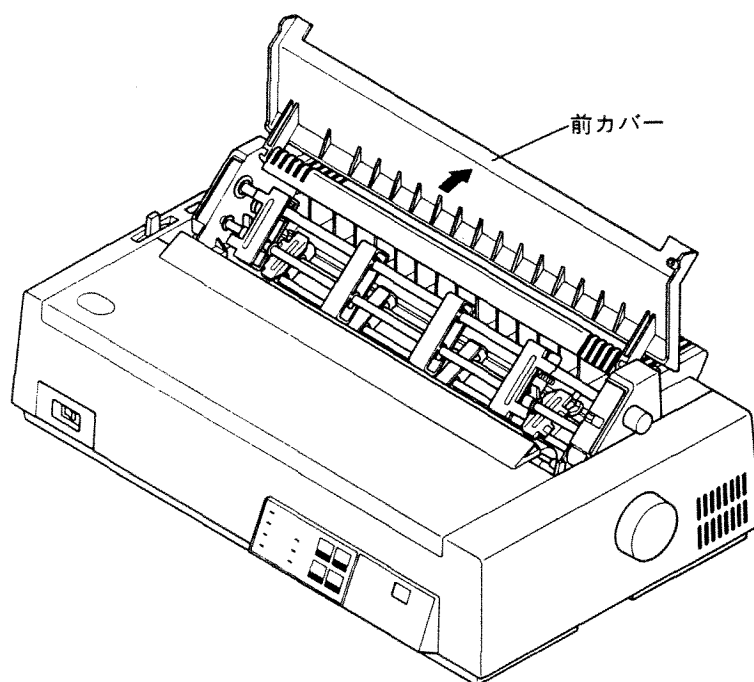


7. 用紙厚設定レバーで適正な用紙厚に設定してください。

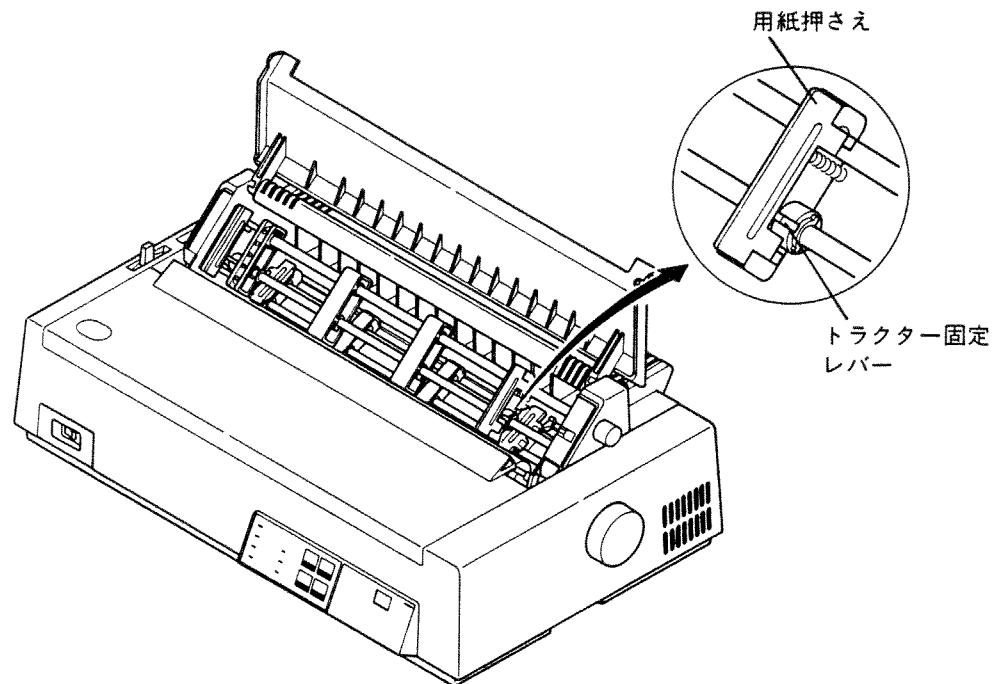
注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。



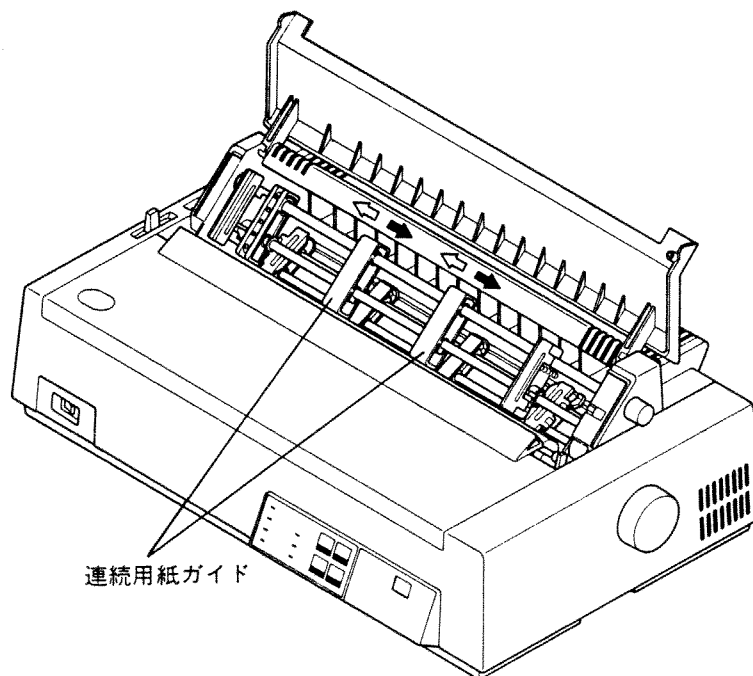
8. 連続用紙送り機構の前カバーを開けてください。



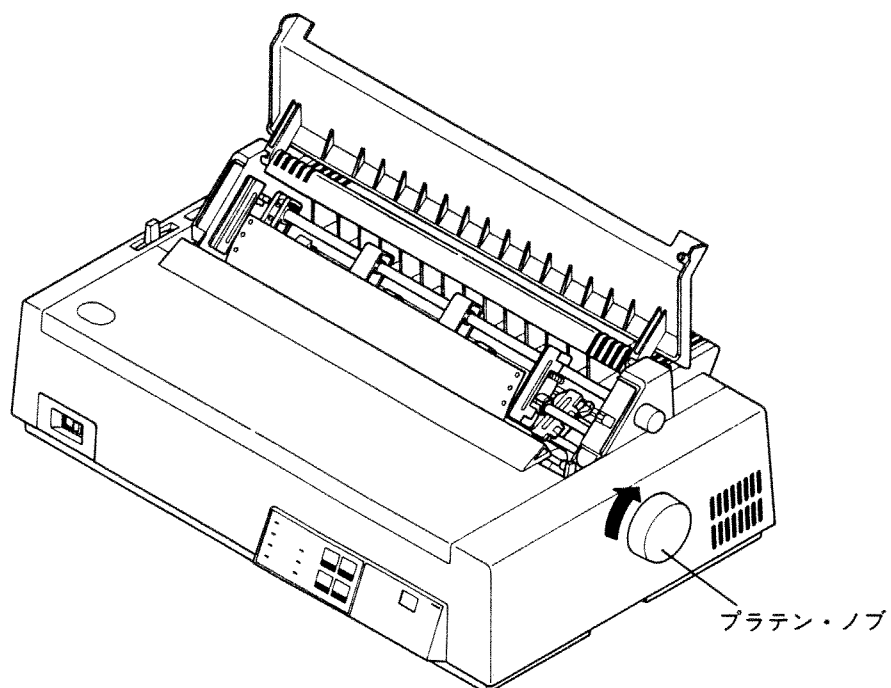
-
9. 連続用紙送り機構のトラクター固定レバーを押し下げて、トラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開いてください。



-
10. 連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分の位置になるように移動してください。

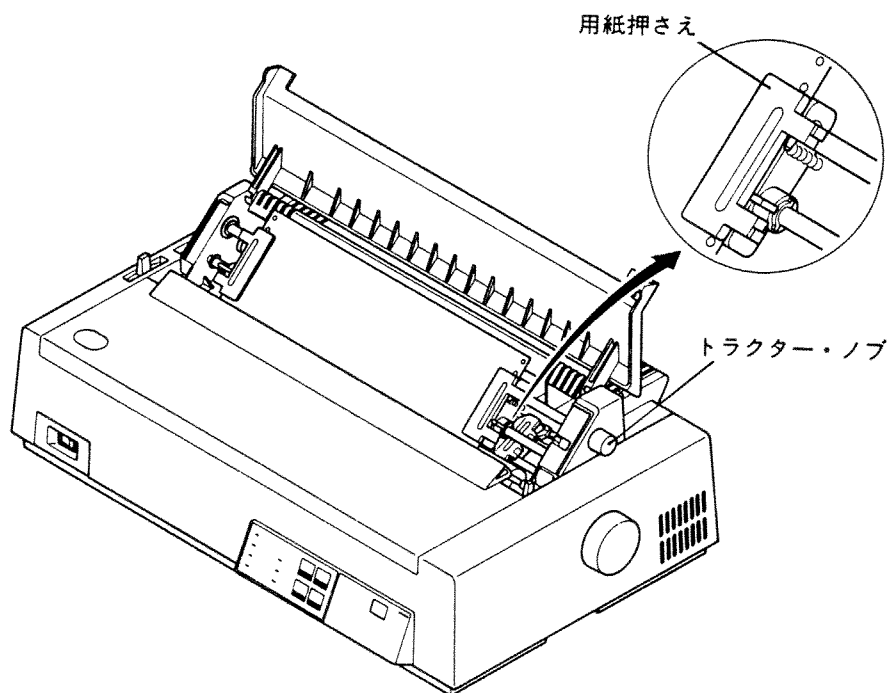


-
11. プラテン・ノブを回して、連続用紙送り機構のトラクターに用紙が掛けられる位置まで用紙を送ってください。

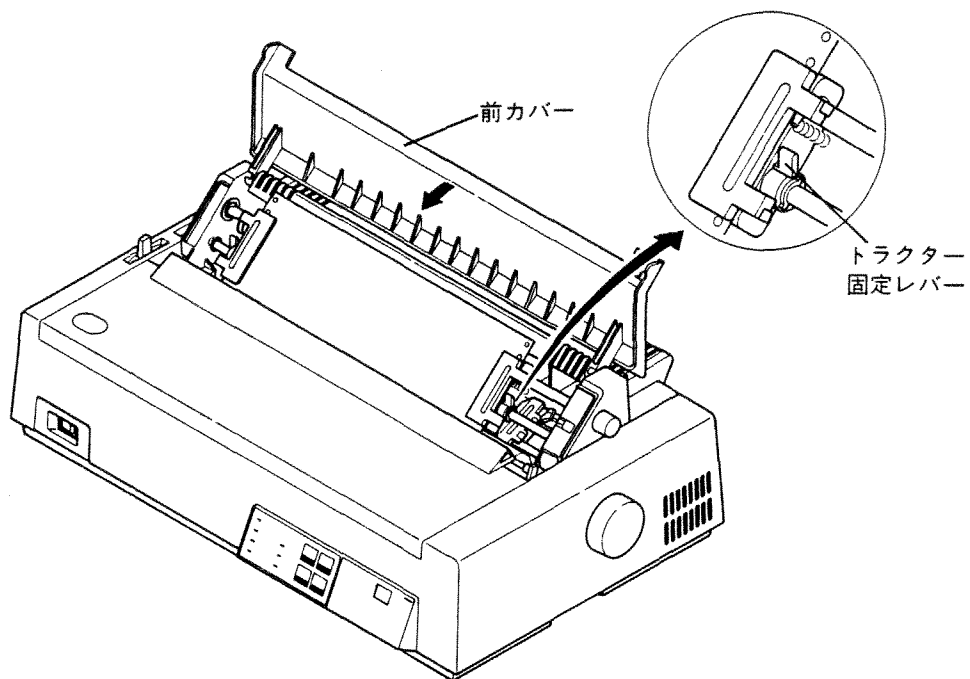


注) 用紙は、ベイル・ローラーとプラテンの間を通るようにしてください。

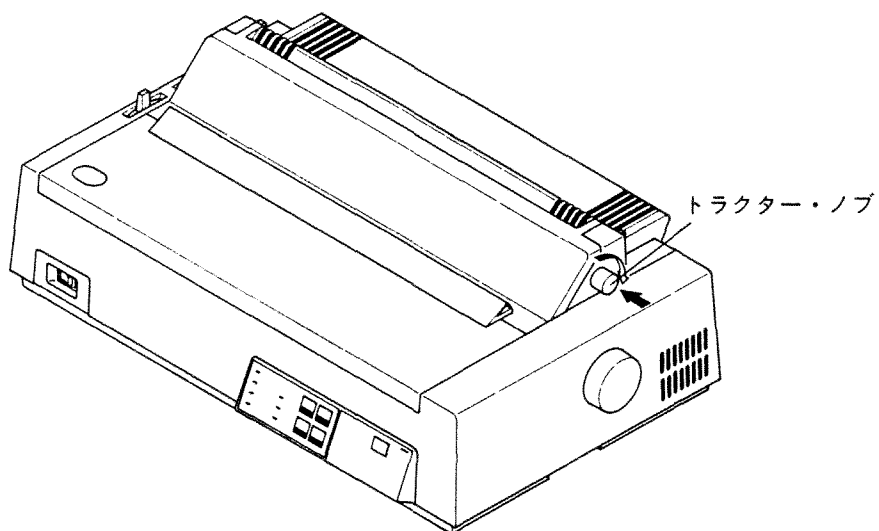
-
12. 連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえで固定してください。トラクター・ノブを押しながら回すと、用紙のセットがしやすくなります。



13. 固定レバーを押し上げてトラクターを固定し、前カバーを閉じてください。

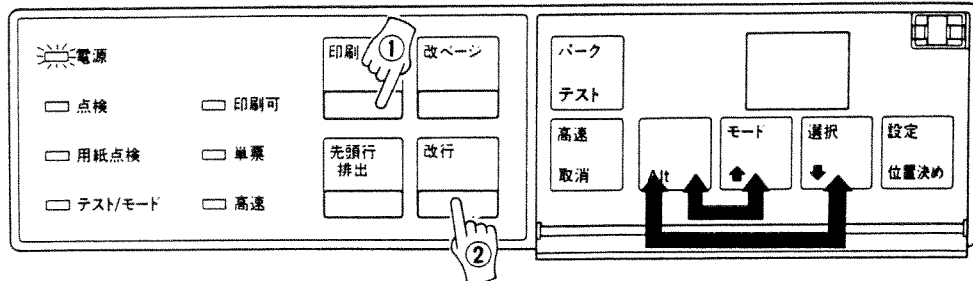


14. トラクター・ノブを下図のように矢印方向に押しながら時計方向に回して、内蔵トラクターと連続用紙送り機構の間で用紙のたわみを取ります。

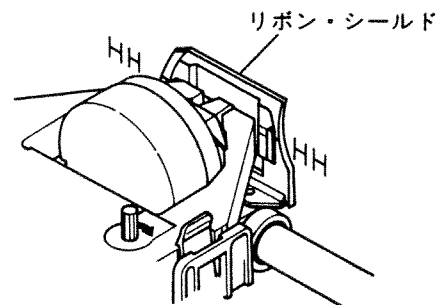


15. 電源スイッチを入れてください。印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。

リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。



注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。



2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙づまりの原因となることがあります。
4. 用紙の位置は位置決めスイッチを押しても記憶されません。次に用紙を取り付ける際は、再度位置合わせを行ってください。

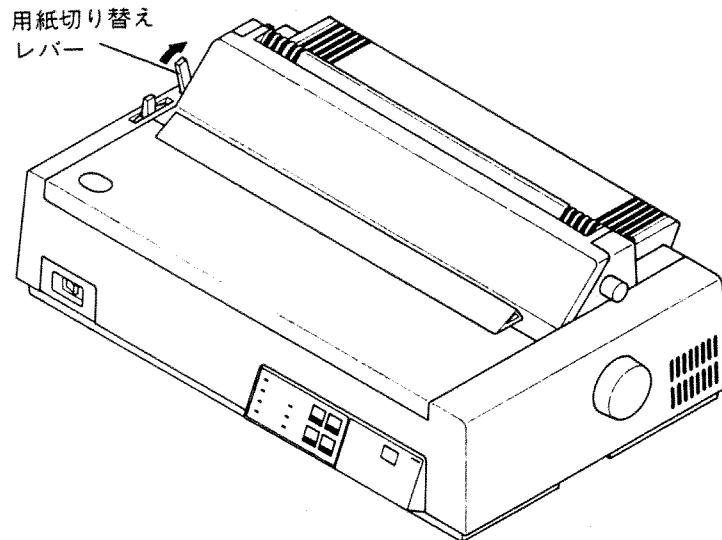
以上で用紙のセットは完了です。

操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。

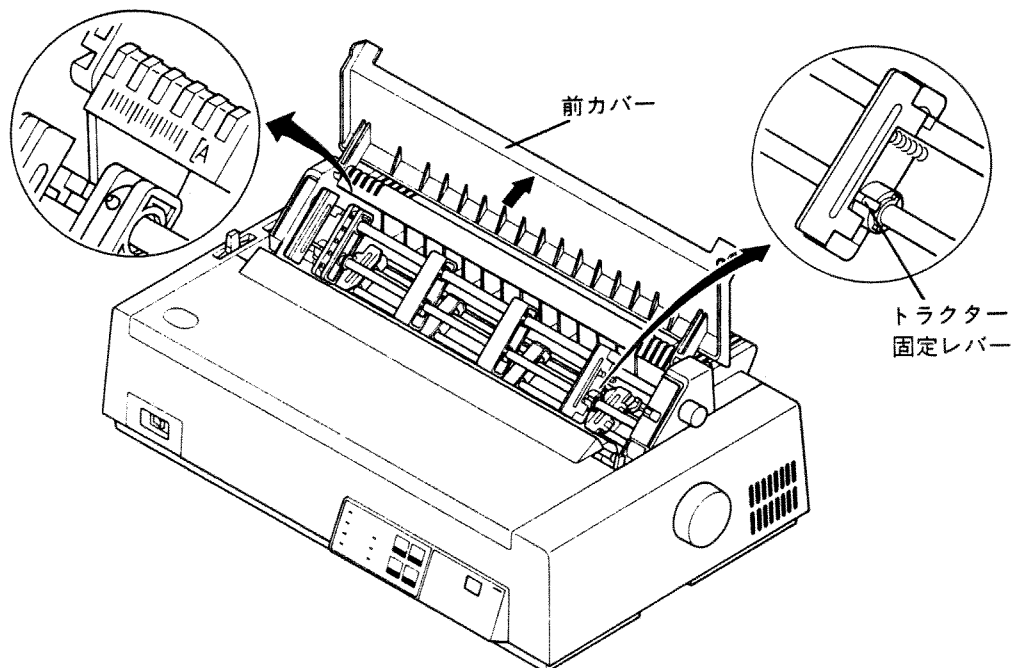
3.5.7 連続用紙送り機構による連続用紙のセット(ボトム・フィード)と位置合わせ

- 注) ● このボトム・フィードでは、天板にスリット孔のある専用台(ID# 3691428)が必要です。
- 連続用紙送り機構の設置は、「2.7 連続用紙送り機構の設置」を参照してください。

1. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。

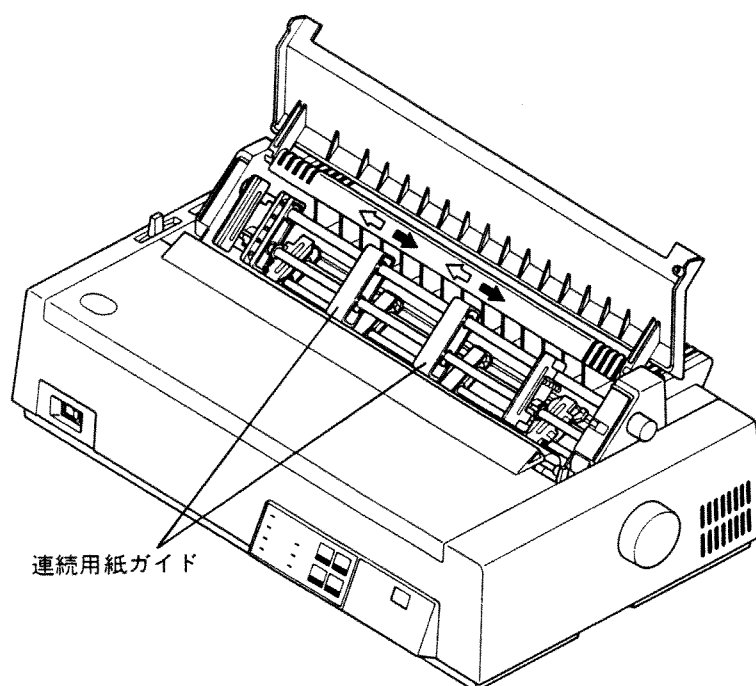


2. 連続用紙送り機構の前カバーを開き、トラクター固定レバーを押し下げて、左側のトラクターを[A印左側のスケールの間]に合わせ、右側のトラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開いてください。



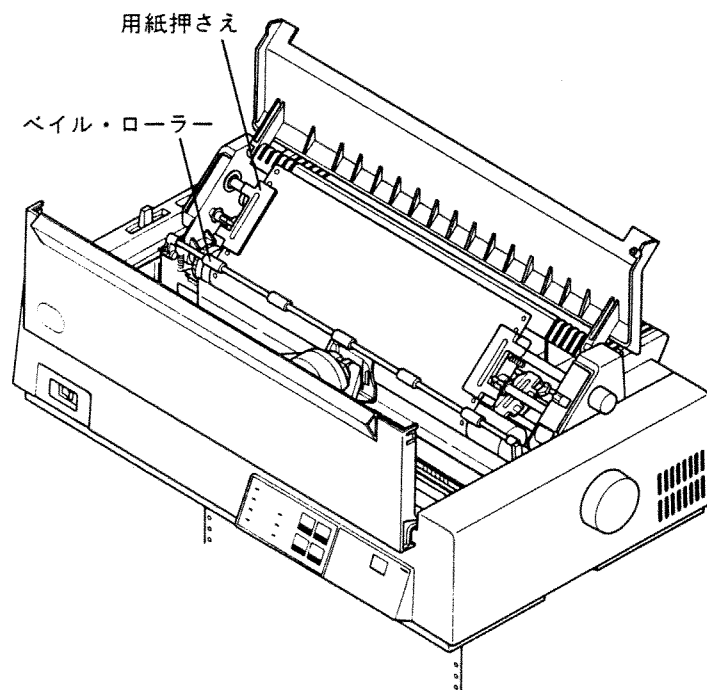
注) [A印マークが印字開始位置を示します。]

-
3. 連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分の位置になるように移動してください。

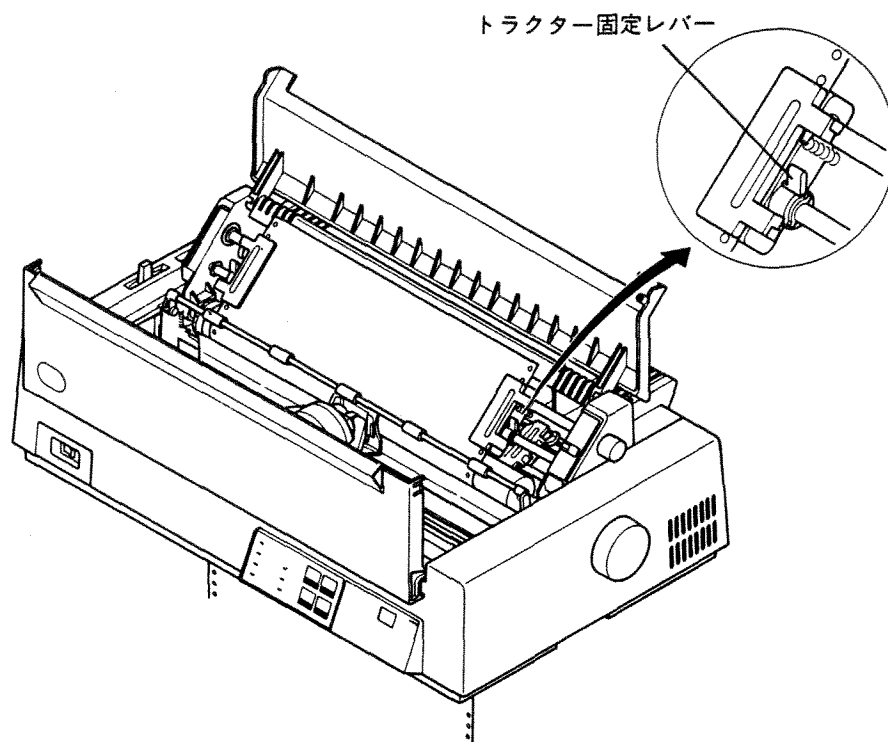


-
4. プリンターの上部カバーを開いて、プリンターの底面から連続用紙を差し込み、ベイル・ローラーとプラテンの間を通して、連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえで固定してください。

注) 連続用紙はプリンターの左側によせて差し込んでください。右側によりすぎると、左側に移動できなくなることがあります。

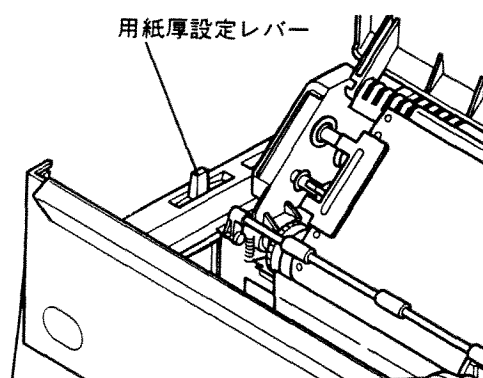


5. トラクター固定レバーを押し上げて、トラクターを固定してください。



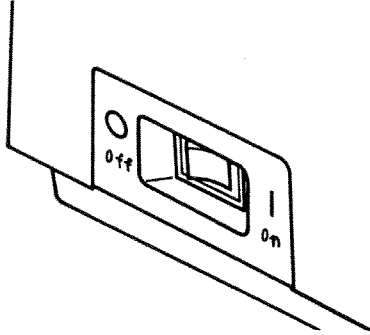
6. 用紙厚設定レバーで適正な用紙厚に設定してください。

注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。

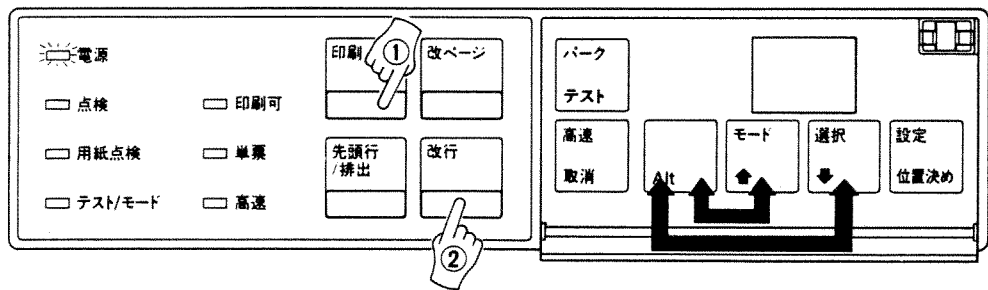


7. 連続用紙送り機構の前カバーとプリンターの上部カバーを閉じて、電源スイッチを入れてください。電源ランプと印刷可ランプが点灯します。

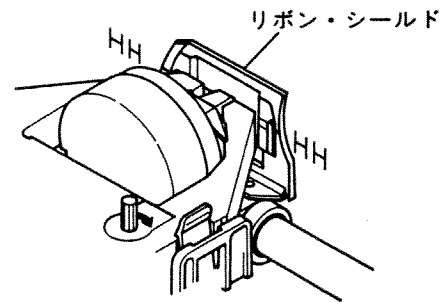
注) 点検ランプがついた場合は電源スイッチを切って、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。



8. 印刷開始位置を変更する場合は、印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、改行スイッチを押して、用紙を送ってください。リボン・シールド左右の白線が印字する行の中央を示します。

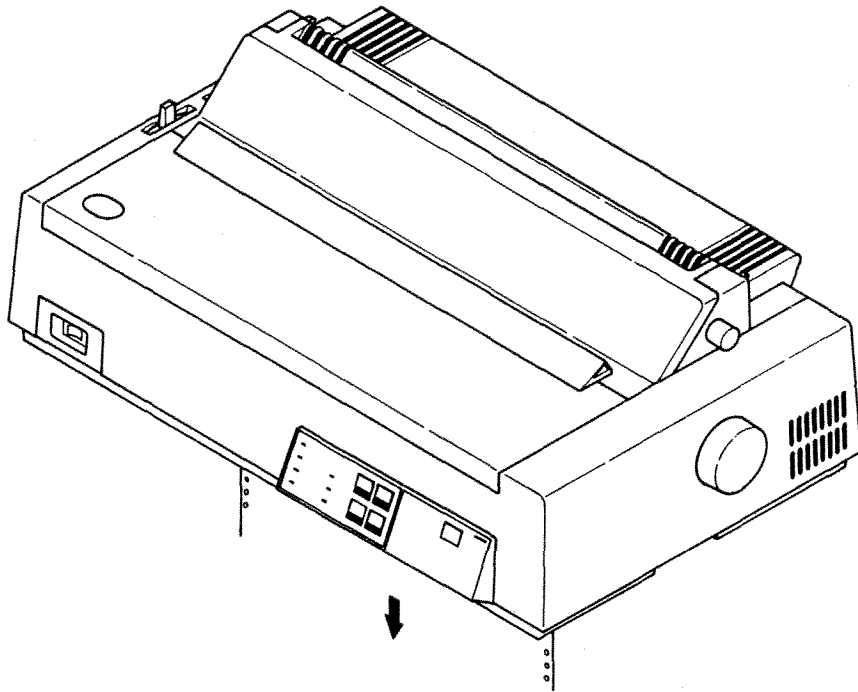


注) 1. 微調整が必要なときは、印刷可ランプが消えている状態で操作パネル・カバーを開き、↑スイッチ(Altスイッチを押したままモード・スイッチ)を押すと1/60インチ単位で調整することができます。



2. 送り過ぎた場合は、↓スイッチ(Altスイッチを押したまま選択スイッチ)を押してください。1/60インチ単位で逆送りすることができます。逆送りの場合は、一度多めに逆送りした後、順送り(↑スイッチ)して位置合わせをしてください。
3. 用紙の位置合わせは、必ず操作パネルまたはソフトウェアで行ってください。プラテン・ノブによる位置合わせは用紙づまりの原因となることがあります。
4. 用紙の位置は位置決めスイッチを押しても記憶されません。次に用紙を取り付ける際は、再度位置合わせを行ってください。

-
9. 用紙のたるみがないように、プリンター底面から軽く用紙を下方へ引っ張ってください。



以上で用紙のセットは完了です。
操作パネル・カバーを閉じてから、印刷スイッチを押し、印刷可ランプが点灯しているのを確認して、プリンターを使用してください。